

2026年度 1年前期 講義

<基礎分野> 科目名 自然科学 講師名 李昌一、横山史織 単位数 2

授業概要	医療に携わる者として生命科学を理解するために必要な生体と化学の関連性およびその知識を修得する。人体の仕組みを日常に即して考え、多方面から理解し、他の科目と関連付けながら知識として固めていく。
教科書	歯科衛生士学シリーズ 生物学
副教材	イラストでわかる歯科医学の基礎
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/17	生命とは何か 生命科学とは？	生命、生命科学の意義を理解し、説明できる。	李 教室
2. 4/22	細胞をつくる物質	細胞をつくる物質の特徴を理解し、説明できる。	李 TAKI
3. 5/1	生命の単位Ⅰ 細胞 細胞内器官	細胞を理解し、説明できる。 細胞内小器官を理解し、説明できる。	李 TAKI
4. 5/8	生命の単位Ⅱ 細胞 細胞内器官	細胞を理解し、説明できる。 細胞内小器官を理解し、説明できる。	李 TAKI
5. 5/15	細胞の一生 細胞周期 単細胞生物と多細胞生物	細胞周期を理解し、説明できる。 単細胞生物と多細胞生物を理解し、説明できる。	李 TAKI
6. 5/22	歯科と化学 生体と化学	歯科の領域に必要な化学の知識を整理する。 ATP の構造と高エネルギーリン酸結合について説明できる。	横山 TAKI
7. 5/29	pH 生体の恒常性 う蝕と pH 生体における化学反応	酸とアルカリ、pH について説明できる。 生体の恒常性と pH について説明できる。 酵素反応について説明できる。	横山 TAKI
8. 6/5	化学の基礎	物質の構造について説明できる。 化学結合についてそれぞれ説明できる。	横山 教室
9. 6/12	生体と有機物①(糖質)	Haworth の投影式、Fischer の投影式で示された糖について判別できる。	横山 教室
10. 6/26	生体と有機物②(脂質)	炭素の単結合および二重結合を理解し、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について構造と性質の違いを説明できる。 ステロイド骨格が判別できる。	横山 TAKI
11. 7/3	生体と有機物③(アミノ酸、タンパク質)	カルボキシ基、アミノ基が判別でき、アミノ酸について説明できる。 ペプチド結合について説明できる。 タンパク質の高次構造について説明できる。	横山 TAKI
12. 7/7	イオン 生体と無機元素 補酵素	代表的なイオンのイオン式が書けるようになる。 生体に重要な無機元素とその特徴を説明できる。 補酵素とその働きについて説明できる。	横山 教室
13. 7/17	核酸	核酸と水素結合について説明できる。	横山 TAKI

14. 7/24	歯科の医薬品と化学 医薬品と濃度	溶質、溶媒、溶液について説明できる。 医薬品の濃度表示について説明できる。	横山 TAKI
15. 9/4	まとめ	生体と化学を中心に生命科学を多方面から理解し、知識を深める。	横山 TAKI

2026年度 1年前期 演習

<基礎分野>科目名 コミュニケーション能力 講師名 池田 雅彦 単位数 1

授業概要	人間関係（対人関係）をより良くするために、自己の持ち得る「関係力」について気づきの学習（楽習）効果を向上させる実践的最新のトレーニングを通して「関係力」の向上を図っていくことを目的とする。
教科書	ありません
副教材	プリント資料、映像資料等
評価方法	期末試験で評価（8回目が試験）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/21	コミュニケーションについての理解	コミュニケーションの基本・アイスブレイク手法を用いて相手を受け入れるとはどのようなことかに気づくことができる。	TK ホール
2. 5/12	自分の人間（対人）関係の在り方に気づく	人間（対人）関係力のチェックおよび分析を行い、新たな自分に気づくことができる。雑談力の大切さを理解することができる。	TK ホール
3. 5/19	コミュニケーション分析（1）	「関係力」とは何かを理解し、自己開示力（自己表現力含む）をアップすることができる。	TK ホール
4. 5/26	コミュニケーション分析（2）	自分の魅力に気づくことで、新しい自己表現力を向上させることが出来るようになる。併せて、相手を受け入れる「認知承認」とはどういうことかが理解できる。	TK ホール
5. 6/9	コミュニケーション分析（3）	人に好かれる人間（対人）関係のヒントから自分に合ったトレーニング方法を実践できるようにする。	TK ホール
6. 6/11	メンタルトレーニング	メンタルを強くするための方法を学習し、自己の弱みを克服できるようにする。	TK ホール
7. 6/16	福祉領域を含めた高齢者とのコミュニケーション術	対象に合わせたコミュニケーションスキルを学び、活用できるようにする。	TK ホール
8. 6/19	前期試験	2クラス合同	TK ホール

2026年度 1年前期 講義

<基礎分野> 科目名 歯科英会話

講師名 植野 正之

単位数 1

授業概要	現在グローバル化がいっそう進み、歯科医療の現場においても外国人の患者に接する機会が増えてきている。本授業では、歯科衛生士として日本語を母国語としない外国人の患者に対して、英語を用いて適切に対応できる基礎的なコミュニケーション能力を身につける。
教科書	なし
副教材	なし
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/14 4/21	Making an Appointment by Telephone	英語で患者の電話予約の対応ができる	
2. 5/12 5/19	Emergency Appointments	英語で緊急の予約の電話に対応できる	
3. 5/26 6/2	Asking the Medical History	英語で病歴を尋ねることができる	
4. 6/9 6/16	Tooth Brushing Instructions for a Child	英語で子どもに歯みがき指導ができる	
5. 6/23 6/30	Periodontal Disease	英語で歯周病について説明できる	
6. 7/7 7/14	Why Do I Need Cleaning?	英語でクリーニングの重要性について説明できる	
7. 7/21	Postoperative Instructions to the Patients	英語で患者への術後の注意ができる	
8. 7/21	Fluoride Treatment	英語でフッ化物の応用について説明できる	45分

※7回8回は TAKI ホール

授業概要	手話の学習を通して、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者に対応するコミュニケーション能力を修得する。
教科書	「手にことばを 手話テキスト 初級用」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1.	コミュニケーション方法・挨拶 自己紹介	聴覚障害者のコミュニケーション方法を理解し、挨拶、氏名を手話で表現できる。	
2.	自己紹介・指文字	住所、趣味等を表現できる。 指文字を表現できる。	
3.	自己紹介・数詞	数詞、年齢、誕生日、家族を表現できる。	
4.	手話でスピーチ	手話で自己紹介ができる。	
5.	疑問文の手話	疑問文の手話を表現できる。	
6.	時制の手話	現在、過去、未来の時制を表現できる。	DVD 視聴あり (TAKI ホール)
7.	歯科医院での会話 感情を表す手話	歯科医院に必要な基本的な会話を表現できる。	DVD 視聴あり (TAKI ホール)
8.	まとめの試験	修得した手話の能力を確認する。	45分

2026年度 1年前・後期

<専門分野>

科目名 倫理

講師名 佐々木 ひろみ

単位数 1

授業概要	医療従事者としての職業倫理を理解し、患者との信頼関係に基づく医療サービスを提供できるように、基本姿勢、価値観を身につける。 歯科衛生士の倫理綱領を理解する。
教科書	歯科衛生学概論
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験
履修上の注意点	テキストは全ての授業に使用するので忘れないこと。また、歯科衛生士概論用のファイルに、倫理として引き続きファイルリングしておくこと。全時間出席が原則。

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	持ち物	備考
1. 6/29	倫理の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理とは何かを理解できる。 ・医療・歯科医療の特性を理解できる。 ・歯科衛生士法にみる歯科衛生士の責務とは何かを説明できる。 		
2. 7/9	医療倫理に関する規範	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の職業倫理を説明できる。 ・人を対象とする医学研究の倫理を説明できる。 ・患者の権利を説明できる。 ・患者中心の医療を理解できる。 ・生命の終わりに関する問題を理解できる。 		
3. 7/13	インフォームド・コンセント	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドコンセントの意味を説明できる。 ・同意が有効であるための条件を理解できる。 ・インフォームドコンセントの説明内容について説明できる。 ・代理同意とは何かを説明できる。 ・インフォームドコンセントが不要な場合を説明できる。 ・セカンド・オピニオンについて説明できる。 ・アドボガシーとは何かを説明できる。 		
4. 7/23	研究と医療倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ研究で医療倫理が必要なのかを理解できる。 ・人を対象とした研究に関わる倫理指針について理解できる。 ・倫理審査について説明できる。 ・利益相反とは何かを説明できる。 		
5. 9/1	歯科衛生士倫理綱領 1	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオエシックスの4原則を説明できる。 ・IFDH 倫理綱領について理解できる。 ・歯科衛生士の倫理綱領の必要性を理解できる。 		
6. 9/7	歯科衛生士倫理綱領 2	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通じて歯科衛生士の倫理綱領の理解を深める。(グループワーク) 		
7. 後期	歯科衛生士の専門職組織	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職組織とは何かを説明できる。 ・職能団体の活動内容、意義を説明できる。 ・歯科衛生士のキャリアアップと関連する制度について理解できる。 		45分
8. 後期	定期試験 (50分) 試験解説			

2026年度 1年前期 講義

<基礎分野> 科目名 健康社会学 講師名 池田 汐里 単位数 1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が生活している場（家族、学校、職場、地域、病院など）での人間関係力を活用し、人々が健康で幸せな生活を営むことができるようになるための知識と技術を学ぶ ・ものの見方・考え方などといった社会学的視点や創造力を育む ・ヘルスプロモーションの理論と実践について学ぶ
教科書	島内憲夫・鈴木美奈子著：健康社会学講義ノート、垣内出版（2018）
副教材	
評価方法	レポート課題を期末試験として評価。 レポートは理解度や応用力（創造力）を評価するための課題であるため、講義や調べたものをまとめるだけではなく、自分のアイデアや意見をしっかりと述べているかについても評価する。

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/16	オリエンテーション 健康社会学とは	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性と関係性の重要点を列挙できる ・健康社会学の定義について説明できる 	45分
2. 4/23	健康社会学的創造力 健康概念	<ul style="list-style-type: none"> ・健康社会学創造力について説明できる ・健康の定義について説明できる 	
3. 4/30	健康の社会化 健康行動	<ul style="list-style-type: none"> ・健康行動の理論やモデルを説明できる ・行動変容について説明することができる 	
4. 5/7	ヘルスプロモーション ・オタワ憲章 ・バンコク憲章	<ul style="list-style-type: none"> ・WHO のヘルスプロモーションの概念について説明することができる ・オタワ憲章とバンコク憲章の相違点を述べることができる 	
5. 5/14	健康と幸福・ダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・幸福の概念が説明できる ・幸福の決定要因について説明できる ・ダイバーシティに関する社会問題を挙げることができる 	
6. 5/21	健康なまちづくり 健康な家族づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型の健康なまちづくりについて説明することができる ・家族の保健機能を列挙できる 	
7. 5/28	健康な学校づくり 健康な職場づくり (CSR・健康経営)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な学校づくりの概念について説明することができる ・健康な職場づくりの概念について説明することができる ・CSR と健康経営の事例を述べることができる 	
8. 6/4	健康な病院づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な病院づくりの概念について説明することができる ・具体的な事例を基に、ヘルスプロモーションの5つの活動について理解を深める 	

2026年度 2年後期 講義

<基礎分野> 科目名 心理学 講師名 李 正姫 単位数 2

授業概要	患者個人に対して最適の医療を提供するため、自己理解、他者理解、ストレスマネジメント、人間の特性についての理解、対人関係づくりのスキル、精神疾患、医療安全コミュニケーションなど、多方面から医療心理学の知識を身につけられるようになる。
教科書	配布資料を教科書同様の扱いとする
副教材	なし
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	心理学とは	日常生活に心理学的知識を活用できる	
	交流分析（1）	自分の中の3種類の自我状態を理解し、客観的で論理的な自我状態を保持することができる	
	交流分析（2）	性格分析を通して自己理解が深まる	
	ロジャーズの傾聴	ロジャーズによって提唱された傾聴の3要素（受容、共感、一致）を実施できる	
	認知行動療法	認知行動療法を知ること、自分の思考パターンのクセを把握でき、修正できる	
	スキーマ療法	生きづらさに関するスキーマを理解し、回復できる	
	動機づけ理論	動機づけとやる気の違いを理解し、目標達成の計画を立てて実行する	
	ストレスマネジメント	ストレスとは何か、ストレス反応にはどのような症状があるかを理解し、ストレス管理ができる	
	精神疾患	うつ病や不安症などの精神疾患の知識を身につけ、患者の理解を深めることができる	
	対人関係の心理学	対人関係づくりの開始・維持方略を身につけることができる	
	依存症	依存症のメカニズムを理解して、予防対策を身につける	
	認知心理学	人間の認知的バイアスを理解し、医療現場におけるヒヤリハットを減らすことができる	
	医療安全の心理学	チーム医療におけるコミュニケーションの注意点を理解し、ヒューマンエラーを防ぐ工夫ができる	
	共感	深い本物の共感的理解を身につけることで、やさしい医療を提供できる	
	睡眠と不眠	睡眠の仕組みを理解でき、不眠症状の改善が実行できる	

2026年度 2年後期 演習

<専門基礎分野> 科目名 介護の基本 講師名 浅見 雅人 単位数 1

授業概要	高齢者等を主体とした介護の基本的な技術と知識を学ぶことで対応方法を理解できる。更に介護技術として車いすや介助歩行及び一般的な移動介助の方法を実践することで患者に寄り添ったケアができ、高齢者等の心の悩みや不安に寄り添った心遣いや思いやりや受け止め方、などの対応方法を学んでいく。
教科書	介護職員初任者研修課程テキストところとからだのしくみと生活支援技術
副教材	介護・福祉サービスの理解 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	介護の心構え 地域での役割	介護の基本的な考え方を理解し、 地域での役割を説明できる。	
	高齢者等への適切な接し方	介護に関する高齢者等の基礎的な現状を理解し、 年齢からくる心身の衰えや老年期の生きがいと何かを説明することができる。	
	老化と認知症状の理解	DVD視聴や講義にて説明。認知症とは何か、老化の物忘れと何が違うのか考察することができる	
	ボディメカニクス 身支度に関する自立に向けた介護	自然な動きを妨げない介助方法を知り、体への負担を軽減できる仕組みを知る。基本的な身支度の方法や個々の障がいによって衣服の脱ぎ着の介助方法が違うことを理解し、障害があっても少しでも自力で身支度が整えられる方法を説明できる。	
	移乗・立ち上がり動作の分析	立ち上がり動作の分析を行い、自然な体の動きを理解し、安全安楽な介助方法を説明できる。	45分
	移動・移乗に関する基礎知識	移動・移乗に関する基礎知識を知り、安全安楽な介助方法を説明できる。	
	車椅子移動	車椅子の点検動作と、車椅子を操作することで、安全な移動ケアとは何かを説明できる。	車いす 操作方法 確認
	快適な住環境と介護	自宅で過ごす高齢者の身体動作は個々によって違う為、住環境の改善を行っていない状況と行っている状況を介護の方法に照らして比較できる。	

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 解剖学 講師名 水野 潤造 単位数 1

授業概要	医療に携わる職種の歯科衛生士にとって最も基本的な知識として必要なのが解剖学である。口腔は全身の一部であるため、全身の構造と機能を理解することは口腔領域の構造と機能を理解するために必須である。また、全身疾患を有する患者の状態を理解するためにも必要となる。人体は骨、血管、神経など、さまざまな器官系からなりたっている。これら器官系ごとに特徴を学び、人体の構造の全体像を理解していく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学
副教材	歯科衛生士書き込み式学習ノート 配布資料
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/17	解剖学総論 骨格系	人体の構成と区分を説明できる。 解剖学で用いる用語を説明できる。 体の方向や部位を説明できる。 骨の構造や形態を説明できる。 人体を構成する骨の名称と構造を説明できる。	
2. 4/24	筋系 神経系 1	筋の構造や形態を説明できる。 人体を構成する筋の名称と構造を説明できる。 神経系の概要と構成を説明できる。 脳の血管系を説明できる。	
3. 5/1	神経系 2	中枢神経系の構造と形態を説明できる。 脳と脊髄の膜を説明できる。 末梢神経系の構造と形態を説明できる。	
4. 5/8	神経系 3 感覚器系	自律神経系の構造と形態を説明できる。 神経系の伝導路を説明できる。 主な感覚器の構造と形態を説明できる。	
5. 5/15	循環器系 1	循環系の概要を説明できる。 心臓の位置や構造、血管を説明できる。 動脈系・静脈系の構造と走行を説明できる。	
6. 5/22	循環器系 2 呼吸器系	胎児循環を説明できる。 リンパ系の構造と走行を説明できる。 呼吸器系の概要を説明できる。 呼吸器の位置や形態、構造を説明できる。	
7. 5/29	消化器系	消化管の形態と構造を説明できる。 胆嚢、肝臓、膵臓の形態と構造を説明できる。 腹膜の形態と構造を説明できる。	

8. 5/29	泌尿器系・生殖器系 内分泌系	泌尿器の形態と構造を説明できる。 生殖器の形態と構造を説明できる。 内分泌器官の種類や形態、構造を説明できる。	
---------	-------------------	---	--

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 生理学

講師名 田崎 雅和

単位数 1

授業概要	各臓器や組織の生理的調節機能についての知識を得る。生体の恒常性(ホメオスタシス)を維持するために、動物性機能と植物性機能との調節機構により生命体を維持している基本的な知識を学び、生体の機能・調節機構を理解し説明できる。
教科書	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口組織発生学・口生理学
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/13	血液・血液凝固	血液(血球と血漿タンパク)の機能と血液凝固機序について説明できる。	301 302
2. 4/14	循環(心機能)	心臓の機能と調節機構について説明できる。	301 302
3. 4/20	呼吸	呼吸の仕組み、呼吸中枢について説明できる。	301 302
4. 4/27	内分泌	甲状腺・上皮小体・膵臓・副腎から分泌するホルモンとその機能を説明できる。	301 302
5. 5/11	内分泌・生殖	ホルモン分泌調節機構および消化管・腎臓・卵巢からのホルモンの機能を説明できる。	301 302
6. 5/18	消化・吸収	消化管の運動と消化液の機能および排便の機序について説明できる。	301 302
7. 5/25	排泄	腎臓の機能および排尿機序について説明できる。	301 302
8. 6/1	体温	体温調節について説明できる。	45 分 301 302

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 生化学

講師名 坪井 美行

単位数 1

授業概要	各臓器の細胞レベルで行われる化学反応の概要を理解し、生命維持に必要な栄養素のエネルギー代謝について理解する。さらに、生体内の恒常性維持の仕組みを、内分泌、自律神経系を通して理解する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学」
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/16	細胞の役割	生物の基本単位である細胞の構造と細胞内小器官の役割を説明できる。	
2. 4/23	人体における水	生体内における水の分布・性質・役割を説明できる。	
3. 4/30	人体構成成分の構造と種類	生体を構成する成分の種類、構造、役割を説明できる。	
4. 5/7	人体における化学反応	三大栄養素の消化吸収の過程を説明できる。	
5. 5/14	糖質と脂質の代謝	生体内の主要なエネルギー源となる糖質と脂質の代謝過程を説明できる。	
6. 5/21	タンパク質代謝	生体内で多様な機能をもつタンパク質の合成とアミノ酸代謝過程を説明できる。	
7. 5/28	生体内における恒常性（1）	生体内の恒常性維持にホルモンや自律神経系が関与していることを述べる事ができる。	
8. 6/4	生体内における恒常性（2）	血糖値を調節する仕組みを説明できる。	45分

2025年度 1年後期 講義

<専門基礎分野> 科目名 栄養学 講師名 高野 由美子 単位数 1

授業概要	歯科衛生士が行う食生活指導に必要な栄養学・食品学の基本的知識を習得する。 ・各栄養素のはたらきと望ましい摂取量の基準を学ぶ。 ・栄養素の消化の過程と吸収のメカニズムを学ぶ。 ・食品と料理区分による食べ方を学ぶ。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能3 栄養学」(医歯薬出版)
副教材	日本食品標準成分表(八訂)女子栄養大学出版部 配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 9/24	栄養と食生活の意義	五大栄養素の種類とはたらきを説明できる。 栄養・食生活の現状と問題点を説明できる。	
2. 10/ 1	栄養素の種類とはたらきⅠ 糖質・脂質	糖質・脂質の種類を類別できる。 糖質・脂質のはたらきを述べることができる。	
3. 10/ 8	栄養素の種類とはたらきⅡ タンパク質・ビタミン	タンパク質・ビタミンの種類を類別できる。 タンパク質・ビタミンのはたらきを述べることができる。	
4. 10/15	栄養素の種類とはたらきⅢ ミネラル・食物繊維・水	ミネラル・食物繊維の種類を類別できる。 ミネラル・食物繊維・水のはたらきを述べる ことができる。	
5. 10/27	栄養素の消化・吸収Ⅰ	消化の種類と過程を説明できる。	
6. 11/ 5	栄養素の消化・吸収Ⅱ	吸収のメカニズムを説明できる。 栄養素別の消化・吸収を説明できる。	
7. 11/ 7	健康と栄養	日本人の食事摂取基準(2025年版)の概要と、 エネルギー・栄養素の各指標を説明できる。	
8. 11/17	食事と食品Ⅰ	食事バランスガイドに示された「何を」「どれだけ」 食べたら良いかを説明できる。 食品群の分類と特徴を説明できる。	45分

2026年度 1年後期 講義

<専門基礎分野> 科目名 組織・発生学 講師名 前田 信吾 単位数 1

授業概要	組織学：動物において共通である基本的な4つの組織から臓器の微細構造および、細胞内の小器官および遺伝子の構造と役割などの全身的な組織と歯をはじめとする口腔分野の構造についての口腔組織について学ぶ。 発生学：ヒト個体における初期発生における口腔および歯の発生について学ぶ。
教科書	歯科衛生士シリーズ・人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生士シリーズ・歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
副教材	歯科衛生士書き込み式学習ノート 配布資料
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	総論(細胞・組織)	細胞の定義や基本的な構造の説明ができる。 細胞と組織の違いを説明できる。	配布資料
	組織(全身)	上皮組織・筋組織・結合組織・神経組織の違いと各組織系による構成された物を分類分けできる。	配布資料
	組織(歯)	エナメル質・象牙質・セメント質・歯髄の構造と違いについて説明できる。	配布資料
	組織(歯)	エナメル質・象牙質・セメント質・歯髄の構造と違いについて説明できる。	配布資料
	組織(歯根膜・歯槽骨)	歯の入る器である歯槽骨、歯を安定化する歯根膜の違いを理解し分類分けできる。	配布資料
	組織(歯肉・口腔粘膜)	口腔内において歯以外は上皮で覆われ、歯肉・口腔粘膜と言われるがその違いを説明できる。	配布資料
	発生(全身)	排卵から出産までの全身の発生の大まかな流れの時期と順番を説明できる。	配布資料
	発生(口腔・歯)	大まかな口腔や歯の発生を知り、乳歯や永久歯の発生・萌出・交換などの時期と順番を説明できる	配布資料

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 口腔解剖学 講師名 水野潤造 単位数 2

授業概要	歯科衛生士にとっての専門領域である口腔を理解するため、口腔付近と歯の詳細な解剖学を学ぶことは大切である。口腔および歯、歯列の正確な形態は、歯科衛生士の業務を遂行するうえで、必須の基礎知識となる。この授業では、口腔および歯の基本的な形態と特徴、乳歯と永久歯の特徴、歯列と咬合の特徴を学習し、臨床へつながる基礎知識を獲得していく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
副教材	歯科衛生士書き込み式学習ノート 配布資料
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 6/26	口腔を構成する臓器	口腔の構造を説明できる。 舌および唾液腺の構造を説明できる。	
2. 7/2	頭頸部の骨	上顎骨と口蓋骨について説明できる。 下顎骨と舌骨について説明できる。	
3. 7/3	頭頸部の筋	表情筋、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋などについて説明できる。	
4. 7/10	頭頸部の脈管系 1	頭頸部に分布する動脈について説明できる。	
5. 7/16	頭頸部の脈管系 2	頭頸部に分布する静脈とリンパについて説明できる。	
6. 7/17	頭頸部の神経系 1	三叉神経系について説明できる。	
7. 7/24	頭頸部の神経系 2	顔面、舌咽神経系について説明できる。	
8. 9/4	頭頸部の神経系 3	舌下、迷走、脊髄、自律神経系について説明できる。 顎関節と下顎運動について説明できる。	
9. 9/9	歯の形態：概略	歯の構造的機能や歯式などについて説明できる。 歯の形態や特徴について説明できる。	
10. 9/11	永久歯の形態 1	永久歯の切歯・犬歯の特徴について説明できる。	
11. 9/25	永久歯の形態 2	永久歯の小臼歯の特徴について説明できる。	
12. 10/2	永久歯の形態 3	永久歯の大臼歯の特徴について説明できる。	
13. 10/9	永久歯の形態 4 乳歯の形態 1	永久歯の大臼歯の特徴について説明できる。 乳歯の特徴について説明できる。	
14. 10/16	乳歯の形態 2 異常歯	乳歯の特徴について説明できる。 異常歯の特徴について説明できる。	
15. 10/23	歯列と咬合	永久歯列と乳歯列の特徴について説明できる。 歯列と咬合の特徴について説明できる。	

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 口腔生理学 講師名 田崎 雅和 単位数 1

授業概要	口腔、顎顔面領域の臓器や組織の生理的機能についての知識を得る。口腔、顎顔面領域の恒常性(ホメオスタシス)を維持するために、口腔、顎顔面領域における動物性機能と植物性機能との調節機構により口腔器官系を調節、維持している基本的な知識を学び、口腔、顎顔面領域の生理的機能と調節機構を理解し説明できる。
教科書	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口組織発生学・口生理学
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 6/1	生物と生命現象 神経細胞	体液について説明できる。 細胞の電気現象について説明できる。	45 分 301 302
2. 6/2	神経(末梢神経系)	末梢神経系の機能について説明できる。	301 302
3. 6/8	神経(中枢神経系)	中枢神経系の機能について説明できる。	301 302
4. 6/15	筋 肉	筋の機能について説明できる。	301 302
5. 6/29	体性感覚・口腔感覚	口腔の表面感覚と深部感覚について説明できる。	301 302
6. 7/6	特殊感覚	特殊感覚(味覚)について説明できる。	301 302
7. 7/13	咬合・咀嚼・摂食・嚥下	咀嚼筋の機能と顎反射の機構および嚥下と嘔吐の機能とその機序について説明できる。	301 302
8. 9/3	唾液・発音	唾液分泌と発音の機能と機構ならびに神経支配について説明できる。	301 302

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 口腔生化学 講師名 田中 秀樹 単位数 1

授業概要	各臓器の細胞レベルで行われる化学反応の概要を理解し、生命維持に必要な栄養素のエネルギー代謝について理解する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学」
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 6/4	結合組織	結合組織を構成する線維性タンパク質および線維間マトリックス成分の種類と特性を説明できる。 また、それらを分解する酵素の種類を列挙できる	
2. 6/11	骨代謝と血清カルシウム調節機構	<ul style="list-style-type: none"> 骨リモデリングのしくみを説明できる。 血清カルシウム調節の仕組みを説明できる。 	
3. 6/25	歯と歯周組織	<ul style="list-style-type: none"> 歯と歯周組織の構造を説明できる。 歯の組成、歯の無機・有機成分の特性を説明できる。 	
4. 7/2	唾液の生化学	唾液の組成と唾液中の無機・有機成分の種類と役割を説明できる。	
5. 7/9	ペリクルとプラーク	<ul style="list-style-type: none"> ペリクルの組成と役割を説明できる。 菌の巣窟となるプラークの形成にはスクロースの存在が深く関与すること、プラーク中に棲息する菌はう蝕や歯周疾患を引き起こす重要な因子の一つであることを説明できる。 	
6. 7/16	う蝕発症機構	<ul style="list-style-type: none"> う蝕は多因子性疾患であること、また、その発症にはプラーク中に棲息する通性嫌気性の酸産生菌が深く関与していることを説明できる。 フッ化物や代用甘味料がう蝕予防に有効であることを説明できる。 	
7. 7/23	歯周疾患発症機構（生体防御機構と炎症反応）	歯周疾患の発症には歯周ポケットのプラーク中に棲息する嫌気性のグラム陰性菌が深く関与していること、また、その進行には細菌活性と生体防御反応との力関係が大きく影響することを説明できる。	
8. 9/3	まとめ	1～14回のまとめ	

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 病理学

講師名 尾曲 大輔

単位数 1

授業概要	病理学総論について学修し、後期に学習する口腔病理学の理解を深めるための準備をする。
教科書	歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔 病理学 (医歯薬出版)
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/14	病因論・代謝障害	病理学の意義について説明できる。病因を列挙でき、退行性病変について説明できる。	
2. 4/21	増殖と修復	進行性病変を学修し、退行性病変との違いを説明できる。	
3. 4/27	循環障害	充血・うっ血・虚血などについて説明できる。	月曜
4. 5/12	炎症・感染症Ⅰ	炎症の分類・特徴など基礎的概念について説明できる。	
5. 5/19	炎症・感染症Ⅱ	重要な感染症とその病態について類別することができる。	
6. 5/26	免疫と免疫異常	免疫の基礎と関連する疾患について列挙できる。	
7. 6/2	腫瘍	腫瘍を類別でき、基礎的事項について説明できる。	
8. 6/9	遺伝性疾患と奇形	先天異常や奇形について説明できる。	45分

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 口腔病理学 講師名 尾曲 大輔 単位数 1

授業概要	口腔に生じる種々の疾患の病態について学修する。
教科書	『歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学』（医歯薬出版）
副教材	『歯科衛生士書き込み式学習ノート』医歯薬出版
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 6/9	歯の発育異常	歯の形態、数、位置、萌出の異常などについて説明できる。	45分
2. 6/16	歯の損傷・付着物・う蝕	プラークや歯石の基礎とう蝕について説明できる。	
3. 6/23	象牙質・歯髄複合体の病変と根尖性歯周炎	歯髄の病変とそれに継発する根尖性歯周炎について類別して説明できる。	
4. 6/30	歯周組織の病変	辺縁性歯周炎および治癒過程について述べ説明できる。	
5. 7/7	顎骨病変と発育異常	顎骨病変と口蓋裂などについて説明できる。	
6. 7/14	口腔粘膜の疾患・口腔癌	粘膜病変および前癌病変の種類について説明できる。（特に白板症、扁平苔癬など）	
7. 7/21	嚢胞と腫瘍	各種嚢胞および腫瘍などについて類別し比較できる。（歯根肉芽腫や歯根嚢胞など）	
8. 9/1	唾液腺病変・加齢変化	唾液腺病変・加齢変化に伴う病変について説明できる。	

授業概要	感染症に注目が集まっている現代において、多くの情報があふれている中、医療に関わる者として微生物と感染症、予防や治療について正しい知識を習得する必要がある。特に歯科衛生士は患者の口腔内に触れる職業ゆえに、感染予防に一段と努めるべきであるため、ヒトに関わる感染症について幅広い知識の習得を目指す。 また、口腔微生物について口腔内だけでなく全身への関わりも学習し、歯科衛生士として必要な微生物の知識を深めていく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学
副教材	なし
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/15	疾病と微生物	疾病の認識と微生物について説明できる。 感染と感染症の種類、感染経路についてそれぞれ列挙し、説明できる。	
2. 4/22	微生物の分類 細菌の性状と病原性	微生物の分類ができる。 微生物の基本的な構造、細菌の増殖について説明できる。	
3. 5/13	細菌の性状と病原性 細菌培養と顕微鏡観察(座学)	細菌の形態や構造を説明でき、分類できる。 グラム染色法の手順を理解し、結果を説明できる。 細菌の病原因子について説明できる。	
4. 5/20	主な病原性細菌(グラム陽性菌)	グラム陽性菌について形態による分類ができ、それぞれの特徴を説明できる。	
5. 5/27	主な病原性細菌(グラム陰性菌)	グラム陰性菌について形態による分類ができ、それぞれの特徴を説明できる。	
6. 6/3	マイコプラズマ属、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、真菌、原虫	それぞれの構造の違いと特徴を説明できる。	
7. 6/10	ウイルスの性状 ウイルス感染症	ウイルスの構造を説明できる。 ウイルスの増殖について説明できる。 ウイルスの分類ができ、代表的なウイルス感染症について説明できる。	
8. 6/15	ウイルス感染症	代表的なウイルス感染症について説明できる。	
9. 6/24	化学療法 滅菌と消毒	各感染症に適した化学療法薬を説明できる。 殺菌と静菌、滅菌と消毒の定義を説明できる。	
10. 7/1	自然免疫と獲得免疫	自然免疫と獲得免疫についてそれぞれ説明できる。	

11. 7/8	液性免疫	抗原と抗体について説明できる。 抗体の種類を列挙し、違いを説明できる。 補体の役割を説明できる。	
12. 7/13	細胞性免疫 アレルギー	細胞性免疫について説明できる。 アレルギーの種類を列挙し、違いを説明できる。	
13. 7/15	口腔細菌叢	口腔内環境と口腔細菌について説明できる。 プラークの形成機序を説明できる。	
14. 7/22	う蝕と歯周病	う蝕と歯周病の病状と病原因子を説明できる。	
15. 9/2	全身疾患と口腔ケア ワクチン	誤嚥性肺炎や心内膜炎について理解し、口腔ケアの重要性を説明できる。 ワクチンの種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。	

授業概要	歯科衛生士業務を行う上で必要な、歯科臨床に関わる薬物の性質、薬理作用、作用機序、副作用を理解する。また、様々な背景をもつ患者を対応する為、循環器疾患や糖尿病などの基礎疾患およびそれらの治療薬に関する知識も修得する。薬理学では、1年生で学習した専門基礎分野の知識を臨床につなげていく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版
副教材	イラストでわかる歯科医学の基礎
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/10	人体の構造と機能 薬理学とは	薬理作用を学ぶ上で必要な人体に関する知識を修得し説明できる。	
2. 4/13	薬物療法 薬理作用 薬物の作用機序	薬物療法および薬物の作用機序の様式について説明できる。	
3. 4/17	薬物用量 投与方法	薬物の用量と作用の関係について説明できる。 薬物用量反応曲線について説明できる。 無効量、有効量、ED50、中毒量、LD50、致死量について説明できる。 安全域(治療係数)を算出できる。 薬物の投与経路および適用方法について説明できる。 剤形の種類と特徴について説明できる。	
4. 4/24	薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)	薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。	
5. 4/27	血中濃度曲線 バイオアベイラビリティ 生物学的半減期 ライフステージと薬物	バイオアベイラビリティ、生物学的半減期について説明できる。 ライフステージ(妊婦、授乳婦、小児、高齢者、有病者)と薬物について説明できる。	
6. 5/1	薬物連用 薬物併用 薬物相互作用 有害作用	薬物連用による耐性、薬物依存について説明できる。 薬物併用による協力作用、薬物相互作用について説明できる。 副作用(有害作用)について説明できる。	
7. 5/8	医薬品の分類と薬物の取り扱い	医薬品医療機器等法について説明できる。 毒薬、劇薬、普通薬、麻薬の表示法と保管法を説明できる。 日本薬局方について説明できる。 処方せんの記載要件について説明できる。	

8. 5/11	中枢神経に作用する薬物	中枢神経に作用する薬物(全身麻酔薬、向精神薬)について説明できる。 ベンゾジアゼピン系薬物の作用機序および関連する受容体について説明できる。	
9. 5/22	末梢神経に作用する薬物 筋弛緩薬	末梢神経に作用する薬物について説明できる。 自律神経に關与する神経伝達物質(ノルアドレナリン、アセチルコリン)と受容体(アドレナリン α 受容体、アドレナリン β 受容体、ムスカリン受容体)について説明できる。	
10. 6/8	局所麻酔薬 麻薬性鎮痛薬	局所麻酔薬の薬理作用、臨床応用について説明できる。 麻薬性鎮痛薬について説明できる。	
11. 6/26	抗アレルギー薬 ステロイド性抗炎症薬 非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs) 解熱鎮痛薬	I型アレルギーの発生機序および抗アレルギー薬について説明できる。 アラキドン酸カスケードについて理解し、ステロイド性抗炎症薬と非ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬(アセトアミノフェン)についてそれぞれの機序を説明できる。	
12. 7/3	呼吸器系に作用する薬物 循環器系に作用する薬物 利尿薬 抗悪性腫瘍薬	呼吸器系に作用する薬物(気管支喘息治療薬)について説明できる。 循環器系に作用する薬物(降圧薬、不整脈治療薬、心不全治療薬、狭心症治療薬)について説明できる。 腎臓に作用する薬物(利尿薬)について説明できる。 抗悪性腫瘍薬について説明できる。	
13. 7/10	止血薬 抗血栓薬	止血機構(一次止血と二次止血)を説明できる。 局所性止血薬および全身性止血薬についてそれぞれ説明できる。 抗血小板薬、抗凝固薬、血栓溶解薬についてそれぞれ説明できる。	
14. 7/17	抗菌薬 消毒薬	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬についてそれぞれ説明できる。 消毒薬について分類でき、適応を説明できる。	
15. 9/4	ビタミン、ホルモン 糖尿病治療薬 骨粗鬆症治療薬 消化器系に作用する薬物	ビタミン、ホルモンの薬理作用についてそれぞれ説明できる。 代謝性疾患(糖尿病、骨粗鬆症)の治療薬について説明できる。 消化器系に作用する薬物について説明できる。	

2026年度 1年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 衛生・公衆衛生学 講師名 宋 文群 単位数 2

授業概要	健康と予防医学の概念、人を取り巻く自然・社会的環境と健康との関係や集団を対象とした疾病予防と地域保健活動について学習する。 具体的には人口問題や環境変化による健康影響、健康にかかわる地域の役割、ライフステージに対応した地域保健活動について修得する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 保健生態学」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/15	総論	健康の概念を説明できる。 予防医学の概念を説明できる。 地域保健の新たな概念を説明できる。	
2. 4/22	人口	人口の推移と年齢別人構造の変化を説明できる。 人口静態統計と動態統計を説明できる。 平均余命、平均寿命、健康寿命を説明できる。	
3. 5/13	健康と環境①	空気の性状、温熱環境と健康について説明できる。 水と健康を説明できる。 放射線と健康を説明できる。 住居・衣服と健康を説明できる。	
4. 5/20	健康と環境②	地球環境と健康について説明できる。 公害と健康への影響を説明できる。 廃棄物の分類と処理の流れを説明できる。	
5. 5/27	感染症	感染症成り立ちの三要因を説明できる。 感染症予防の基本概念と予防対策を説明できる。 主な感染症の発生動向を説明できる。	
6. 6/5	食品と健康	食中毒の疫学を説明できる。 食中毒の分類と発生動向を説明できる。 国民栄養の現状と問題点を説明できる。	
7. 6/10	地域保健・公衆衛生①	地域社会と健康を説明できる。 地域保健の概念を説明できる。 地域保健の組織を説明できる。	
8. 6/24	地域保健・公衆衛生②	地域保健活動の進め方を説明できる。 健康日本21と地域増進法を説明できる。 主な地域保健福祉関連施策を説明できる。	
9. 6/30	母子保健	母子保健の目的と意義を説明できる。 母子保健活動と対策を説明できる。 乳幼児健康診査を説明できる。	

10. 7/1	学校保健	学校保健の意義と特徴を説明できる。 学校保健の行政組織と関係法規を説明できる。 学校保健職員と役割を説明できる。 学校保健の3領域を説明できる。	
11. 7/8	成人保健	成人保健の意義を説明できる。 主な生活習慣病の動向を説明できる。 成人保健対策を説明できる。	
12. 7/14	産業保健	産業保健の意義を説明できる。 産業保健の管理体制を説明できる。 産業保健対策を説明できる。	
13. 7/15	高齢者保健	高齢者保健の現状と意義を説明できる。 高齢者保健福祉対策を説明できる。 介護保険制度について理解し、概要を説明できる。	
14. 7/22	精神保健	精神保健の意義を説明できる。 ライフステージにおける精神保健を説明できる。 地域精神保健福祉対策を説明できる。 精神保健活動の現状を説明できる。	
15. 9/3	まとめ、振り返り学習	これまでの授業内容を振り返り学習し、理解度を 確認するとともに、試験に向けて練習問題を解く ことができる。	

2026年度 1年後期 講義

<専門基礎分野> 科目名 予防歯科学 講師名 戸田 真司 単位数 2

授業概要	歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には疾病異常の原因、予防に関する科学的事実と基礎を正しく理解し、必要な知識と技術を身につけ、患者の教育と指導の実践の能力を修得する。
教科書	「歯科衛生士テキスト・口腔衛生学—口腔保健統計を含む—（学建書院）第4版」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	口腔衛生学の意義、歯・口腔の健康と機能	<ul style="list-style-type: none"> 口腔保健の概要と健康の概念を説明できる。 予防の3相5段階を説明できる。 咀嚼の意義を説明できる。 	
	歯・口腔の発育変化	<ul style="list-style-type: none"> 歯と口腔の機能を説明できる。 歯と口腔の発育変化を説明できる。 歯の形成に必要な栄養素と役割を説明できる。 	
	口腔環境	<ul style="list-style-type: none"> 唾液の作用を説明できる。 ペリクルの意義と特徴を説明できる。 エナメル質の萌出後の成熟現象を説明できる。 口腔常在菌の分布の概要を説明できる。 	
	歯・口腔の付着物・沈着物(1)	<ul style="list-style-type: none"> プラークの形成機序と特徴を説明できる。 マテリアルバの特徴を説明できる。 プラークの成熟による口腔細菌叢の変化を説明できる。 食物残渣とプラークとの関連を説明できる。 	
	歯・口腔の付着物・沈着物(2)	<ul style="list-style-type: none"> 歯石形成機序と特徴を説明できる。 着色性沈着物の特徴を説明できる。 舌苔の特徴と清掃法を説明できる。 	
	口腔清掃(1)	<ul style="list-style-type: none"> プラークコントロールの意義を説明し、口腔清掃法を分類できる。 歯ブラシの構成を説明できる。 	
	口腔清掃(2)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔清掃の補助清掃用具の特徴を説明できる。 歯磨剤と洗口剤を分類し、成分と機能を説明できる。 	
	口腔清掃(3)	<ul style="list-style-type: none"> ブラッシングの方法と特徴を説明できる。 歯垢染色剤を分類できる。 舌・口腔粘膜の清掃を説明できる。 	
	う蝕の予防(1)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の発生要因と発生機序を説明できる。 う蝕における脱灰と再石灰化平衡を説明できる。 	
	う蝕の予防(2)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕活動性試験を分類し、特徴と判定方法を説明できる。 う蝕予防の3相5段階を説明できる。 	
	歯とフッ化物(1)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物の意義と自然界での分布を説明できる。 フッ化物の代謝と急性毒性を説明できる。 	

	歯とフッ化物（２）	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物の慢性毒性を説明できる。 ・フッ化物によるう蝕予防機序を説明できる。 ・フッ化物応用の歴史を説明できる。 	
	歯とフッ化物（３）	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物全身応用と局所応用を分類し、特徴を説明できる。 ・フッ化物応用によるう蝕予防効果を説明できる。 	
	歯周疾患の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患を分類できる。 ・歯周疾患の発生要因とリスクファクターを列挙できる。 ・歯周疾患予防の３相５段階を説明できる。 	
	口臭・不正咬合・他疾患の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・不正咬合の特徴と予防方法を説明できる。 ・口臭の特徴と予防方法を説明できる。 ・その他の歯科疾患の特徴と予防方法を説明できる。 	

2026年度 2年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 社会福祉 講師名 浅見 雅人 単位数 1

授業概要	児童福祉法、障がい者福祉関連法、老人福祉法、介護保険制度、対人援助を含めて社会福祉の全般の授業となる。書類様式はパワーポイントにて授業を進行する。毎回簡単な課題を解いて頂き、授業内容の理解力を高める。歯科衛生士として社会福祉はどのような関連性があるのか？しっかり学んでいく。
教科書	歯科衛生士教本 歯・健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 歯科衛生士と法律・制度 第3版
副教材	配布プリントの参考文献
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 5/7	憲法25条 生存権とは	日本国憲法 25 条の生存権では条文と原点を意識し、生きる権利を説明できる。	
2. 5/14	児童福祉法・児童虐待防止法・その他の制度について	現在の日本の児童福祉の現状を学び、主に児童虐待という社会問題ある現実を理解し、虐待を発見した際、どのような行動をするべきか説明できる。	
3. 5/21	障がい者福祉の大切な視点について	障がい者をマイナスだけでなく、いかにプラスの面が多いかを理解し、健常者及び障がい者が一緒に過ごせる共生社会の大切さに気づき、平等とは何かを説明できる。	
4. 5/28	介護保険の申請から要介護及び要支援の認定の流れについて	介護保険制度の創設の意義と高齢化社会がどのような方向性に向かっていくかと申請から利用に至るまでのプロセスを説明できる。	
5. 6 /4	介護保険制度によるサービスの種類について	在宅サービスと施設サービスの大枠を確認し、市町村及び都道府県が中心に取り組んでいるサービス内容と各専門職と機関を説明できる。	
6. 6/11	地域間との連携と高齢者施設及び事業者について	老人福祉法との関連も含めながら、介護保険施設と在宅サービスの具体的に何が違うのかを認識し、地域間での連携のしくみを説明できる	
7. 6/18	他者との向き合う姿勢とは	人間として魅力的な評価を他者から受ける為には福祉の視点である。対人相談援助スキルを学ぶことが重要であり、一般的援助と専門家としての対人援助とはなにが違うかを比較できる	
8. 6 /25	社会福祉の総まとめ	いままで学んできた相談の受ける体制を総括し、説明できる。	まとめ 45分

2026年度 2年後期 講義

<専門基礎分野> 科目名 衛生行政 講師名 七島 慧一郎 単位数 1

授業概要	この講義の一般目標は、「歯科衛生を行うために、日本の保健・医療・福祉の制度と医事法制を理解し、歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識を習得する」ことです。歯科衛生士法をはじめ、歯科衛生士に関わる法律や医療保険などの社会の仕組み、国民医療費といった医療の動向について学修します。
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉の制度 ・歯科衛生士書き込み式学習ノート② 社会歯科系科目編 2025年度 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2
副教材	歯科六法コンメンタールー歯科関連法律の逐条解説一〔第2版〕
評価方法	期末試験（筆記試験：多肢選択式）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	歯科衛生士法	歯科衛生士法について説明できる。	45分
	歯科医師法 歯科技工士法	歯科医師法について説明できる。 歯科技工士法について説明できる。	
	医療法	医療法について説明できる。	
	医療関係職種	医療関係職種について説明できる。	
	その他関係法規	地域保健に関する法律について説明できる。 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる。 その他の衛生法規について説明できる。	
	社会保障制度 医療保険	社会保障制度について説明できる。 医療保険について説明できる。	
	介護保険	介護保険について説明できる。	
	年金保険 社会福祉 医療の動向	年金保険について説明できる。 社会福祉について説明できる。 医療の動向について説明できる。	

2026年度 2年前期 講義

<専門基礎分野> 科目名 地域歯科保健活動論 講師名 戸田 真司 単位数 1

授業概要	歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には地域における各種歯科保健活動について修得する。
教科書	「歯科衛生士テキスト・口腔衛生学—口腔保健統計を含む—（学建書院）第4版」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/14	地域歯科保健（1）	・地域社会と地域歯科保健の概念を説明できる。	
2. 4/21	地域歯科保健（2）	・地域保健に関わる組織について説明できる。 ・地域保健法に基づく地域保健の施設を説明できる。	
3. 4/28	地域歯科保健（3）	・地域歯科保健活動の進め方を説明できる。 ・健康日本21の意義と目標を説明できる。 ・歯科口腔保健推進法を説明できる。	
4. 5/8	地域歯科保健（4）	・地域歯科保健活動を担う地方公務員について説明できる。	
5. 5/12	母子歯科保健	・妊産婦と乳幼児の歯科口腔保健の特徴を説明できる。 ・幼児の法定歯科健康診査を説明できる。	
6. 5/19	学校歯科保健	・学校保健の領域を分類できる。 ・学校三師の役割を説明できる。 ・学校歯科健康診断と事後措置を説明できる。	
7. 5/26	産業歯科保健	・産業保健の仕組みを説明できる。 ・職業性歯科疾患の特徴と予防を説明できる。 ・職域における健康保持増進対策を説明できる。	
8. 6/9	成人歯科保健	・各種法律に基づく成人の歯科口腔保健事業を説明できる。	
9. 6/16	高齢者歯科保健	・各種法律に基づく高齢者の歯科口腔保健事業を説明できる。	
10. 6/23	要介護者・障害者歯科保健	・要介護者・障害者の歯科口腔保健を説明できる。	
11. 6/30	災害時の歯科保健	・災害時の歯科口腔保健を説明できる。	
12. 7/7	国際歯科保健	・国際歯科口腔保健を説明できる。	
13. 7/14	歯科疾患の疫学特性	・歯科疾患の疫学的特徴を説明できる。	

14. 7 / 21	調査と統計	<ul style="list-style-type: none"> • 標本調査について説明できる。 • 令和4年（第12回）歯科疾患実態調査の概要を説明できる。 • 歯科保健に関する国家統計調査を説明できる。 	
15. 9 / 1	地域歯科保健のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> • 地域歯科保健活動に必要な知識を分類・整理できる。 	

授業概要	統計学における基本的なものの考え方、見方を学修することによって、図や表に示されている数字や事実を根拠に歯科口腔保健について考えていく姿勢と、科学的かつ論理的な思考力を養うことが本教科のねらいである。 歯科疾患や口腔清掃状態等の指標とその意味及び統計データのまとめ方・整理の仕方・分析方法を学修し、科学的で根拠のある歯科口腔保健実践の基礎的能力を養う。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学」
副教材	なし
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	保健情報と保健統計	データと情報の違いを説明できる。 EBMの手順を理解し、説明できる。 国家統計調査を説明できる。	
	保健情報と疫学①	疫学の定義、目的、病因論を説明できる。 疫学の調査方法を説明できる。	
	保健情報と疫学②	有病率、罹患率を説明できる。 スクリーニング検査の指標を説明できる。 敏感度と特異度を算出できる。	
	歯科疾患の指数①	う蝕の指数を説明できる。	
	歯科疾患の指数②	歯周疾患の指数を説明できる。	
	歯科疾患の指数③	口腔清掃疾患の指数を説明できる。 歯のフッ素症指数を説明できる。	
	保健情報の分析手順	質問紙作成法を説明できる。 標本抽出法を説明できる。	
	保健統計の方法①	データの尺度を類別できる。 データの代表値、散布度を選択できる。 相関を説明できる。	
	保健統計の方法②	検定と帰無仮説を説明できる。	
	保健統計の方法③	データの特徴、分布に応じた検定法を選択できる。	
	保健統計の分析演習①	検定の流れを述べることができる。 t 検定について説明できる。	
	保健統計の分析演習②	χ^2 (カイ二乗) 検定について説明できる。	

	保健統計の分析演習③	図表作成の基本事項を説明できる。 適切な図表を作成できる。	
	情報の保護と倫理 歯科疾患の指数のまとめ	個人情報の扱いを知ることができる。 情報モラルを説明できる。 歯科疾患の指数全般について説明できる。	
	まとめ、振り返り学習	振り返り学習し、演習問題を解くことができる。	

2026年度 1年前期

〈専門分野〉 科目名 歯科衛生士概論Ⅰ 講師名 佐々木ひろみ 単位数 1

授業概要	健康支援者としての歯科衛生士の業務、役割、活動の場、心構えを理解する。 歯科衛生過程の概要を理解する。
教科書	歯科衛生学概論
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験
履修上の注意点	テキストは全ての授業に使用するので忘れないこと。また、歯科衛生士概論用のプリントファイルを用意すること。配布プリントは2年、3年でも継続して使用するので授業順にファイルしておく。全時間出席が原則。

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	持ち物	備考
1. 4/13	歯科衛生と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生とは何かを理解する。 ・ 健康の意味、考え方を理解する。 ・ 健康をサポートするために歯科衛生士が行うことを説明できる。 ・ 歯科衛生士の業務（歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導）の概要を知る。 		
2. 4/20	歯科衛生士の誕生と 歯科衛生士法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の誕生の時期と経緯を説明できる。 ・ 歯科衛生士法、第1条、第2条、第3条の要点を説明できる。 ・ 歯科衛生士法、第2条、第3条の改訂の時期と理由を説明できる。 ・ 業務独占、名称独占の意味を説明できる。 ・ 3大業務を業務独占、名称独占に分類できる。 		
3. 4/24	歯科衛生士の素養 歯科衛生士教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士として身につけておかなければならない態度について理解できる。 ・ 歯科衛生士教育の変化と現在の教育内容を説明できる。 		45分
4. 5/11	歯科衛生士の活動の 場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の就業者数の現状を知る。 ・ 歯科衛生士が勤務する場とそこにおける業務の概要を説明できる。 	電卓	
5. 5/18	医療安全確保と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理に関する用語を理解できる。 ・ ハインリッヒの法則を理解できる。 ・ 安全管理体制の確保について理解できる。 ・ ヒューマンエラー対策について理解できる。 ・ 事故発生時の対応について理解できる。 ・ 標準予防策を理解できる。 ・ 医療従事者として感染対策への対応を理解できる。 		
6. 5/25	他職種の理解と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム医療の必要性を理解できる。 ・ 病院における連携の必要性を理解できる。 ・ 地域における医科・歯科連携を理解できる。 ・ 子育てにかかわる連携を理解できる。 ・ 歯科衛生士と関わる職種の業務を理解できる。 		
7. 6/1	歯科衛生過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生過程の定義・目的を述べる。 ・ 歯科衛生過程を構成する6つの要素を挙げる。 ・ 歯科衛生過程の6つの要素の概要を述べる。 ・ 情報収集の手段・内容を挙げる。 ・ 情報の種類（主観的情報、客観的情報）を説明できる。 		
8. 6/18	定期試験（50分） 試験解説			

2026年度 2年後期 講義

<専門分野> 科目名 歯科衛生士概論Ⅱ(歯科衛生過程) 講師名 佐々木ひろみ 単位数 1

一般目標	歯科衛生士として科学的根拠に基づいた業務を行うために、歯科衛生過程の理論と実際を理解する。
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	プリント
評価方法	期末試験 提出物
履修上の注意点	プリントは歯科衛生士概論用のプリントファイルに授業順にファイルしておく。 歯科衛生過程は連続で演習をおこなうため、欠席をすると次の回の理解ができなくなる。自己管理に留意し欠席をしないよう努めること。提出物は指示通り提出すること。(未提出は、授業終了とならない)
持ち物	3色ボールペン(マーカー等色分けができる物用意) プリントファイル(配布プリント一式)

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	演習プリント
	歯科衛生過程理論	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生過程の目的を説明できる ・歯科衛生過程の5つのプロセス、6つの構成を説明できる ・Darby と Walsh のヒューマンニーズ概念モデルを理解できる 	
	アセスメント(1) 情報の整理・分類	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンニーズ概念モデルに沿った情報の整理・分類法を説明できる 	情報の整理・分類
	アセスメント(2) 情報の解釈・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の分析、解釈の方法を説明できる ・「データ不足」「強み」の意味を説明できる 	情報の解釈・分析
	歯科衛生診断(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生診断と歯科診断の違いを説明できる ・歯科衛生診断の3つのタイプを説明できる ・歯科衛生診断の構成を説明できる 	歯科衛生診断
	歯科衛生診断(2) 歯科衛生計画(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生診断の優先順位の決め方を説明できる ・長期目標、短期目標の意味を説明できる ・長期目標、短期目標の立て方を説明できる 	計画：目標設定
	歯科衛生計画(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生計画の立て方を説明できる 	計画：計画立案
	歯科衛生介入 歯科衛生評価	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生介入の記録方法を説明できる ・歯科衛生評価の方法を説明できる 	

2026年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 保存修復学 講師名 椎谷 亨 単位数 1

授業概要	保存修復治療は、一般歯科臨床において非常に高頻度で行われます。歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解し、歯科医師の実施する保存修復治療の補助のために必要な治療手順、薬剤および器材の使用法等の習得を目標とします。 講義の中では、近い将来必ず突破しなければならない歯科衛生士国家試験を見据えて、既出保存修復学問題のうち複数の基本的問題を単元ごとに取り入れ、国家試験において難解とされる保存修復学の早期理解を目指します。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	歯の保存療法とは (I編) 保存修復の概要① (II編 1章)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の硬組織疾患の種類と原因、予防法、処置法を説明できる。 う蝕治療の流れ、また前準備の概要を説明できる。 窩洞の構成と名称、分類と窩洞形態の原則を説明できる。 修復処置に使用する器材の概要を説明できる。 修復法の種類 (直接修復・間接修復) と特徴を説明できる。 歯の切削器械・器具の種類と特徴を説明できる。 	
	保存修復の概要② (II編 1章)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の変色の原因と処置法 (歯の漂白) を説明できる。 Minimal Intervention Dentistry (MID) の意義を説明できる。 象牙質知覚過敏症の症状と原因、処置法を説明できる。 修復処置後の不快事項とメンテナンスおよび補修修復について説明できる。 	
	直接法修復① (II編 2章)	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットレジン修復の手順を説明できる。 歯面処理材料の準備ができる。 コンポジットレジン修復の器具や材料の準備ができる。 	
	直接法修復② (II編 2章) 歯の漂白① (II編 3章)	<ul style="list-style-type: none"> ガラスイオノマーセメント修復の手順を説明できる。 ガラスイオノマーセメント修復の器具や材料の準備ができる。 直接修復治療後の指導ができる。 漂白法の適応症を説明できる。 漂白法の種類を説明できる。 	

	歯の漂白②（Ⅱ編 3章） 間接法修復①（Ⅱ編 4章）	<ul style="list-style-type: none"> ・漂白法の手順を説明できる。 ・漂白法の器材・薬剤の準備ができる。 ・漂白後の術後指導ができる。 ・インレー修復の手順を説明できる。 	
	間接法修復②（Ⅱ編 4章）	<ul style="list-style-type: none"> ・インレー修復の準備ができる。 ・合着後の余剰セメントの除去ができる。 ・間接修復治療後の指導ができる。 	
	補修修復（Ⅱ編 5章） 保存修復における歯科衛生士の役割（Ⅱ編 6章）	<ul style="list-style-type: none"> ・防湿法に用いる器具や材料の名称と用途を説明できる。 ・ラバーダム防湿ができる。 ・隔壁法に用いる器具の操作ができる。 ・歯肉排除法に用いる器材の操作・取扱いができる。 ・歯間分離法に用いる器具の操作ができる。 ・切削用器械、器具の取扱いと管理ができる。 ・直接修復治療後の指導ができる。 ・漂白後の術後指導ができる。 ・間接修復治療後の指導ができる。 	
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・保存修復治療の診療補助手技、患者への指導に関わる理論的諸背景を総合的に述べるができる。 	45分

2026年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 歯内療法学 講師名 前田 朋己 単位数 1

授業概要	歯髓疾患および根尖性歯周疾患の病態を理解し、診査、診断、処置、予防を行うために必要な知識を身につける。
教科書	歯科衛生士学シリーズ 保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	歯内療法の概要	歯内療法に必要な検査を説明できる。 歯髓疾患および根尖性歯周疾患の原因、症状、処置方針を説明できる。	
	歯髓保存療法	歯髓保存療法の概要と使用する器具・薬剤を説明できる。	
	歯髓除去療法（1）	生活断髓法の概要と使用する器具・薬剤を説明できる。	
	歯髓除去療法（2）	麻酔抜髓法の概要と使用する器具・器材、薬剤を説明できる。	
	根管治療	根管治療の概要と使用する器具・器材、薬剤を説明できる。	
	根管充填 歯内療法における安全対策	根管充填の概要と使用する器具・器材、薬剤を説明できる。 歯根未完成歯の治療法を説明できる。 歯内療法における偶発症の予防と対処法を説明できる。	
	外科的歯内療法 歯の外傷	外科的歯内療法の名称、適応症、術式を説明できる。 歯の外傷の分類、対処法を説明できる。	
	まとめ	講義内容の補充 歯内療法の診療の流れと使用する器具・薬剤を述べるができる。	45分

2026年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 歯周病学 講師名 松浦 孝典・城戸 大輔 単位数 1

授業概要	歯周病の病態・病因について学習し、歯周治療の目的、理論、実際を理解する
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 (医歯薬出版)
副教材	『歯科衛生士書き込み式学習ノート』(医歯薬出版)
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	歯周治療とは	歯周治療がどのような治療かをイメージすることができる	松浦
	正常な歯周組織の構造・機能	正常な歯周組織の構造・機能を説明できる	水谷
	歯周病の分類	歯周病に罹患した歯周組織について類別できる	松浦
	歯周病の原因	歯周病の病因について説明できる	松浦
	歯周治療の進め方	歯周治療の流れを説明できる	水谷
	歯周病の診査(1)	歯周病の診査方法、検査について説明できる	松浦
	歯周病の診査(2) 歯周基本治療(1)	歯周病検査(咬合、画像診断)について説明できる。歯周基本治療の概要を説明できる	松浦
	歯周基本治療(2)	プラークコントロールの方法・効果を説明できる	水谷
	歯周基本治療(3)	スケーリング・ルートプレーニング、薬物療法の方法・効果を説明できる	水谷
	歯周外科治療(1)	歯周外科の適応、器具、術式を説明でき、治療形態については再生療法と比較できる	水谷
	歯周外科治療(2)	歯周形成外科、根分岐部病変、歯内歯周病変について分類と治療法について説明できる	水谷
	口腔機能回復治療	咬合性外傷、固定法、インプラント治療、インプラント周囲炎について説明できる	松浦
	ペリオドンタルメディシン	歯周病と関係の深い全身疾患について説明できる	水谷
	メンテナンス	メンテナンスの方法、重要性について説明できる	松浦
	症例提示・まとめ	歯周治療について、初診からメンテナンスまでの臨床症例を通じて総括的に述べることができる	松浦

2026年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 歯科補綴学 講師名 幸阪 尚保 単位数 1

授業概要	歯科補綴学に関する検査と診断、補綴治療計画の立案、治療方法と材料、実際の診療の流れ、さらに術後のメンテナンスに至るまで、診療に必要な基礎と歯科衛生士の役割を学ぶ
教科書	「歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学（医歯薬出版）」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	歯の欠損に伴う障害	歯を失った患者の病態について、機能と形態の側面から説明できる	45分
	検査・診断と補綴装置の構造	検査方法と診断を理解し、適した補綴装置について説明できる	
	クラウンブリッジ	固定性の補綴治療の種類、治療の流れと使用する材料を説明できる	
	部分床義歯	部分床義歯の構成要素、治療の流れと使用する材料を説明できる	
	全部床義歯とインプラント	全部床義歯とオーバーデンチャーについて、治療の流れと使用する材料を説明できる	
	合併症と患者指導	補綴治療に際し、留意すべき患者の全身疾患と現病歴、社会背景を説明できる	
	補綴治療後のメンテナンス	補綴治療後に起こる口腔内の変化、補綴装置の問題とそれらへの対処法を説明できる	
	補綴治療の役割	補綴治療の現場で歯科衛生士に求められる役割を説明できる 講義内容の補充、まとめ	

2026年度 2年後期 講義

<専門分野> 科目名 口腔外科学 講師名 佐藤 五月 単位数 1

授業概要	患者さんは、痛みや精神的苦痛をもって来院します。みなさんが歯科衛生士として患者さんと向き合うとき、ここで学習し、得た知識が生かされます。用語は難しいと思います、しかし基本をおさえれば口腔外科が分かるようになります。 顎・口腔領域に生じる疾患の特徴や治療法を基礎科目で得た知識と関連付けながら講義します。事前に教科書を読んで講義に臨んで下さい。
教科書	歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版
副教材	講義プリント
評価方法	期末試験 授業内課題

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	口腔外科の概要 p2-5、 口腔外科診療の実際 p148-167	口腔外科で扱う疾患、口腔に症状を呈する全身疾患、治療に影響を与える基礎疾患を説明できる。また、清潔と不潔、滅菌と消毒の違いが説明でき、口腔外科診療における歯科衛生士の役割を述べることができる。	
	顎・口腔領域の炎症性疾患 p70-84	解剖学・病理学と結びつけて炎症を説明できる。歯周組織、顎骨、顎骨周囲組織への炎症の広がりを、原因と口腔解剖学からイメージできる。	
	顎・口腔領域の損傷・機能障害と治療法 p26-42	軟組織の損傷、歯と歯槽の外傷、顎骨骨折、顎関節疾患と治療法について説明できる。	
	口腔粘膜病変 視診で気付けるイメージづくり p45-68	口腔粘膜の特徴を理解し、粘膜疾患の基本的症状、全身疾患との関連が説明できる。「何か変」と気付ける歯科衛生士を目指す。	
	炎症 p70-84、血液疾患 p143-140	各種口腔粘膜疾患の特徴と治療法 何に気をつけて歯科衛生士業務をすべきなのか考えられる。	
	顎関節疾患、唾液腺疾患 p109-125	唾液腺の種類（部位）と機能が説明できる。唾液腺の炎症性疾患、分泌異常、唾石症、腫瘍の症状と治療法が説明できる。顎関節症の分類。	
	先天異常、発育異常と口腔外科診療 p7-25	歯の異常、軟組織の異常、顎の異常、口唇裂・口蓋裂と治療法について説明できる。	
	顎・口腔領域の嚢胞性疾患 p86-94	発生原因（どこに由来するのか）を知り嚢胞の構造をイメージできる。嚢胞の発育は緩慢で無痛性であることを知り、その治療法が説明できる。	
	顎・口腔領域の腫瘍ならびに腫瘍類似疾患 p95-107	炎症による腫脹と腫瘍との違いはなにか？腫瘍とは何か、悪性と良性は何が違うのか、発生する組織による腫瘍分類、進行程度による分類（TNM分類）を説明できる。	
	口腔領域の神経疾患 126-132 まとめ講義	神経は運動と知覚を司る。顎・顔面領域の神経の種類と機能を知り、神経痛、神経麻痺がどのような症状を呈するのかを説明できる。	

2026年度 2年後期 講義

<専門分野>科目名 歯科麻酔学・患者管理 講師名 香川 恵太 単位数 2

授業概要	歯科衛生業務を行うにおいて局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔に必要な知識、使用薬物、手技を習得する。 それと同時に全身状態、全身管理、救急処置に必要な基礎知識を習得する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔学」
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	バイタルサイン①	呼吸・脈拍・体温について測定・説明できる。	
	バイタルサイン②	血圧・意識について説明できる。	
	全身状態の評価	患者予備力・全身状態を説明できる。	
	局所麻酔①	局所麻酔の方法、使用薬物を列挙できる。 局所麻酔について説明できる。	
	局所麻酔②	局所麻酔の偶発症について説明できる。 局所麻酔投与時に注意すべき疾患について背 t 名 できる。	
	精神鎮静法	精神鎮静法について説明できる。	
	全身麻酔法	全身麻酔法について説明できる。	
	鎮静法、全身麻酔時の業務・準備	鎮静法・全身麻酔法における業務・準備について 説明できる。	
	歯科治療時の全身的偶発症	歯科治療時の偶発症を列挙し、それぞれ状態、対 応について説明できる。	
	救急蘇生法①	成人の BLS について説明できる。	
	救急蘇生法①	小児の BLS について説明できる。 誤飲・誤嚥の症状、対応について説明できる。	
	歯科治療時留意すべき全身 疾患	留意すべき疾患について説明できる。	
	まとめ		
	救急法	救急法実習 (東京都防災救急協会普通救命講習)	TAKI 白衣の ハット着 用

2026年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 小児歯科学 講師名 大久保 孝一郎 単位数 1

授業概要	小児の成長発育を理解し、小児期の特性や口腔内の状況を把握したうえで、チェアーサイドでの歯科衛生士の業務や役割についてを具体的に学ぶ。 小児歯科臨床において特徴的な治療法、歯冠修復、外科的処置、咬合誘導処置および予防法、診療時の対応法や注意点などを履修する。
教科書	医歯薬出版株式会社 小児歯科学
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	乳歯・幼若永久歯の特徴ならびに小児期の歯の異常と口腔軟組織疾患	乳歯・幼若永久歯の萌出、歯の異常、小児期にみられる口腔軟組織疾患を理解することができる。	
	小児の心身の正常な発育と生理的特徴ならびに災害時における歯科衛生士の役割	小児の正常な成長発育を理解し、小児歯科診療における診療補助の原則を理解することができる。	
	小児の社会性の発達と、歯科的対応	小児の社会性の発達を理解し、小児への歯科的対応を理解することができる。	
	う蝕の基本と乳歯・幼若永久歯の歯冠修復	う蝕の基本を理解し、乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法を理解することができる。	
	乳歯・幼若永久歯の歯内療法	乳歯・幼若永久歯の歯内療法を理解することができる。	
	乳歯・永久歯の外傷の特徴や処置法の概要を理解する	乳歯・永久歯の外傷の特徴や処置法の概要について理解する。	
	小児の保隙装置の種類と特徴	小児の保隙装置の種類と特徴を説明することができる。過去の国家試験の要点を理解することができる。	
	期末試験	筆記試験（50分間）解説講義（30分間程度）講義内容全範囲から出題する。	

2026年度 1年後期 講義

<専門分野>科目名 歯科矯正学 講師名 鈴木 聖一・辻 美千子 単位数 1

授業概要	歯科矯正学の基礎として顎口腔の成長発育、歯の動くメカニズム、矯正装置の構造を、また矯正臨床として各種不正咬合の病態とそれら症例の矯正治療の開始時期や治療計画の立案についての知識を修得し、これらの知識に基づき矯正臨床の場で歯科衛生士として実践できる幅広い応用力を身につける。
教科書	「歯科衛生学シリーズ歯科矯正学」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	歯科矯正学の定義と目的	歯科矯正学の定義、および歯科矯正治療の意義と目的、不正咬合のリスクファクターを説明できる。	鈴木
	成長発育 1	全身および顎顔面領域における成長発育の時期と成長の部位、及びパターンについて説明できる。	鈴木
	成長発育 2	口腔および歯列の成長発育の場、時期、および乳歯咬合から永久歯咬合の変化を説明できる。	鈴木
	正常咬合・不正咬合	正常咬合の定義、および不正咬合の分類が説明でき、それぞれの特徴が列挙できる。	鈴木
	不正咬合の原因	様々な不正咬合の原因と不正咬合成立の機構、および不正咬合が全身へ及ぼす影響について説明できる。	鈴木
	矯正診断	矯正診断に必要な検査と分析法および解析結果について説明でき、検査結果から治療計画を立案する思考法を説明できる。	鈴木
	材料・矯正器具	矯正治療に用いる材料や器具の名称、及びそれら材料や器具がどのような矯正治療の過程で何を目的として使用されるか説明できる。	鈴木
	矯正装置	各種矯正装置が矯正力を歯に伝えるメカニズム、および各装置の名称、およびそれらの適応症例と効果について説明できる。	鈴木
	矯正治療基礎	歯の移動における生体反応、各種不正咬合に対する基本的な治療方針と治療計画を説明できる。	鈴木
	口唇口蓋裂・先天異常	口唇口蓋裂と各種先天異常の病態と、各々に特徴的な不正咬合および治療法について説明できる	辻
	矯正臨床 1	各種の不正咬合症例における矯正治療の実際について知り、基本的な矯正治療の流れを説明できる。	辻
	矯正臨床 2	各種の不正咬合症例における矯正治療の実際について知り、基本的な矯正治療の流れを説明できる。	辻
	口腔習癖・MFT	口腔習癖の原因、弊害、および筋機能療法の目的と舌習癖に対する基本的な方策について説明できる。	鈴木
	顎変形症・後戻りと保定	矯正治療後の後戻りと保定の概念、顎変形症の症状の特徴と外科的矯正治療について説明できる。	鈴木
	矯正治療の介助	歯科衛生士に必要な矯正治療における介助の要点と実際について説明できる。	鈴木

2026年度 2年前期 講義

<専門分野> 科目名 障害者歯科学 講師名 宮城 敦 単位数 1

授業概要	障害者の歯科医療では治療や指導および患者管理に特別の配慮を必要とする。その際に必要な身体的、知的、および精神的特徴と特有の口腔機能障害について説明できる。そして私たちと同じ社会の一員でもある障害者の生活を知り、歯科衛生士として適切な態度と行動を述べるができる。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学」第2版 医歯薬出版
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験（選択式）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/15	障害者および障害者歯科の定義、現状、歴史	障害者および障害者歯科の定義・歴史を説明できる。 ノーマライゼーションについて説明できる。 チームアプローチを説明できる。	
2. 4/22	障害者の歯科医療と患者の行動調整	障害者歯科で実践する種々の行動調整法を説明できる。	
3. 5/13	視覚・聴覚障害およびてんかんと歯科的対応	視覚障害・聴覚障害の症状とその歯科的対応について説明できる。 てんかんの症状とその歯科的対応について説明できる。	
4. 5/20	知的能力障害およびダウン症候群と歯科的対応	知的能力障害の症状と歯科的対応について説明できる。 ダウン症候群の症状と歯科的対応について説明できる。	
5. 5/27	発達障害と歯科的対応	限局性学習症、注意欠如多動症および自閉スペクトラム症の症状と歯科的対応を説明できる。	
6. 6/3	脳性麻痺と歯科的対応	脳性麻痺の症状と歯科的対応について説明できる。	
7. 6/10	重症心身障害、筋ジストロフィーおよび筋萎縮性側索硬化症の歯科的対応	重症心身障害、筋ジストロフィーおよび筋萎縮性側索硬化症の症状と歯科的対応を説明できる。	
8. 6/24	脊髄損傷と歯科的対応他	脊髄損傷の症状と歯科的対応を説明できる。 障害者の口腔衛生管理について説明できる。	45分

2026年度 2年前期 講義

<専門分野> 科目名 歯科放射線学 講師名 田口 長、板東 士朗 単位数 1

授業概要	歯科における放射線診断は非常に有効である。 十分な知識を用い、被爆の少ない安心な医療の提供できるように 本講義を通して臨床の現場で患者に十分説明できる知識を持ち、安全に利用できる 知識・技能を学ぶ。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/16	歯科医療と放射線	放射線の基礎知識を理解する	板東
2. 4/23	X線画像の形成	X線の発生と性質、画像の形成原理を理解する	板東
3. 4/30	歯科におけるX線検査	X線撮影機器とフィルム・データの種類を説明できる	板東
4. 5/13	X線撮影の実際と歯科衛生士の役割	X線撮影法の種類やその他の画像検査の特徴を説明できる 写真処理と画像保管の重要性について説明できる	田口
5. 5/19	口内法X線撮影の実際と歯科衛生士の役割	口内法X線撮影法の種類とその特徴を説明できる	田口 BO1
6. 5/27	パノラマX線撮影の実際と歯科衛生士の役割	口内法・パノラマX線撮影法と撮影画像を説明できる	田口 BO1
7. 6/9	X線撮影方法の読影と歯科衛生士の役割	口内法・パノラマX線撮影法・X線規格撮影法と撮影画像を説明できる	田口 203
8. 6/18	放射線治療と口腔管理	放射線の生物学的影響と放射線治療を説明できる	板東 45分

2026年度 2年前期 講義

<専門分野> 科目名 高齢者歯科学 講師名 高城 大輔 単位数 1

授業概要	超高齢社会に突入し、歯科医療従事者に要求される知識や技能が変化している。歯科疾患に対する知識のみならず、口腔全体の健康ひいては口腔を通じて全身の健康に寄与することが求められ、それに対応すべく高齢者歯科学の概念が確立された。本講座では高齢者歯科学についての知識や技能の基礎を修得する。
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学
副教材	授業プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/13	高齢者の社会環境 高齢者のための社会福祉制度	1. 高齢者に関わる人口統計や高齢者を支える取り組みについて説明できる 2. 高齢者に関わる社会保障制度を説明できる	
2. 4/20	全身および口腔内の加齢変化	1. 加齢による肉体的・精神的・社会的な影響を説明できる 2. 口腔機能低下症・オーラルフレイルについて説明できる	
3. 4/27	高齢者のアセスメント	1. 介護現場において頻用されるアセスメント指標について列挙できる 2. 医療現場において頻用されるアセスメント指標について列挙できる	
4. 5/11	歯科治療時に注意が必要な全身疾患	1. 高齢期に多い、歯科治療時に配慮が必要な全身疾患を列挙できる 2. 各疾患における歯科治療時の注意点を説明できる	
5. 5/18	歯科訪問診療	1. 歯科訪問診療について説明できる 2. 患者の状態やライフステージに配慮した歯科診療について説明できる	
6. 5/25	訪問診療における口腔衛生管理と関係職種	1. 訪問診療における歯科衛生士の意義を説明できる 2. 訪問診療での口腔衛生管理について、具体的な方法を説明できる 3. 患者の健康を支える関連職種について列挙できる	
7. 6/1	摂食嚥下リハビリテーション	1. 摂食嚥下のプロセスについて説明できる 2. 摂食嚥下障害について説明できる 3. 摂食嚥下リハビリテーションにおける診査診断と対応方法について説明できる	
8. 6/8	認知症と歯科診療	1. 認知症の種類や症状について説明できる 2. 認知症患者の歯科診療時の留意点について説明できる	

2026年度 1年前期 実習

<専門分野>科目名 歯科予防処置Ⅰ 講師名 田澤栄美・星貴子・長谷川里果 単位数 前後期 1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の状態を把握するために必要な基本知識を修得する。 ・口腔内の状態を把握するために必要な診査器具の操作方法を理解し、技術を修得する。 ・歯石除去を行うために必要な器具の操作方法を理解し、技術を修得する。 ・履修上の注意点—技術的な手技は毎日の積み上げで上達するものであるから、練習を怠らない。実習時は身だしなみを整える。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」、「歯周病学 第2版」
副教材	プリント（担当教員ごとに整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1. 5/14	歯科予防処置 総論 1	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科予防処置の授業を受けるにあたり、注意事項、心構えを理解することができる。 ・歯科予防処置の定義を説明できる。 ・口腔の基礎知識を理解できる。 	教室	教授要綱、テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「歯周病学」 色鉛筆			星
2. 5/18	歯科予防処置 総論 2	<ul style="list-style-type: none"> ・歯石除去の意味を理解できる。 ・プラークについて述べることができる。 ・歯石について述べることができる。 ・歯肉炎と歯周炎の特徴を理解できる。 		テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「歯周病学」、総論 1 で配布したプリント、色鉛筆			
3. 1-1: 6/11 1-2: 6/10	歯周診査 器具の操作 1	<ul style="list-style-type: none"> ・器具が正しく把持できる。 ・探針の使用目的を説明できる。 ・机上で探針の基本操作ができる。 	203	スクーラーケース（中に診査器具一式（ミラー、ピンセット、探針、プローブ）を入れてくる）、黒油性マーカー、顎模型、テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布プリント一式	○		長谷川
4. 1-1: 6/24 1-2: 6/23	歯周診査 器具の操作 2	<ul style="list-style-type: none"> ・デンタルミラーの使用目的を説明できる。 ・歯科用ピンセットの使用目的を説明できる。 ・マニキン上で探針、デンタルミラー、歯科用ピンセットの操作ができる。 		スクーラーケース（診査器具一式）、顎模型（舌模型を装着する）、頬粘膜マーカー、テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布プリント一式			
5. 1-1: 7/1 1-2: 6/29	歯周診査 器具の操作 3	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周プローブの使用目的を説明できる。 ・顎模型上でプローブの操作ができる。 		スクーラーケース（診査器具一式）、顎模型（舌模型・上下顎透明歯肉装着）、頬粘膜マーカー、テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布プリント一式			
6. 1-1: 7/9 1-2: 7/10	歯周診査 器具の操作 4	<ul style="list-style-type: none"> ・マニキン上でデンタルミラー、プローブ、ピンセットの操作ができる。 		スクーラーケース（診査器具一式）、顎模型（舌模型・上下顎透明歯肉装着）、頬粘膜マーカー、テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布プリント一式			
7. 9/2	歯周診査 器具の操作 5	<ul style="list-style-type: none"> ・マニキン上でデンタルミラー、プローブ、ピンセットの操作ができる。 		スクーラーケース（診査器具一式）、顎模型（舌模型・上下顎透明歯肉装着）、頬粘膜マーカー、テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布プリント一式			

8. 9/25	口腔観察の基礎	<ul style="list-style-type: none"> • 口腔観察の目的・内容を説明できる。 • 口腔内の状態を記録・説明できる 	教室	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布プリント一式			長谷川
9. 9/28	歯周診査器具相互実習オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> • 相互実習の概要を説明できる。 • 相互実習の記録用紙の記入方法が説明できる。 	203	スケラケース（診査器具一式）、顎模型（舌模型装着、下顎のみ透明歯肉に替えてくる）、頬粘膜パッド、配布プリント一式	○		田澤

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防処置を行う上での基盤となる知識を修得する。 ・安全にう蝕予防処置を行うために必要な患者配慮について学ぶ。 ・履修上の注意—持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」「口腔衛生学」授業日より「化学」
副教材	プリント（ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験(筆記試験)、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣
	う蝕予防の基礎1	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防処置の概要を説明できる。 ・フッ化物とは何かをが理解できる。 		①「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」 ②「口腔衛生学」 ③1回目、6回目は、「化学」のテキストを①②に加え持参のこと。	
	う蝕予防の基礎2	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物の基礎について説明できる。 			
	う蝕予防の基礎3	<ul style="list-style-type: none"> ・全身的・局所的なフッ化物の応用法を述べることができる。 ・フッ化物歯面塗布法について説明できる。 			
	う蝕予防の基礎4	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口法について説明できる。 			
	う蝕予防の基礎5	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物配合歯磨剤について説明できる。 			
	う蝕予防の基礎6	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ素の急性中毒、慢性中毒について説明できる。 ・急性中毒発現のフッ化物量が算出できるフッ化物の取り扱いが適切に行える。 			
	モリタセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・デンタルガムの活用方法について説明できる。 	203	後日案内	○
	う蝕予防処置まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科予防処置に必要な知識を述べることができる。 		「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」 ・配布資料すべて	

2026年度 2年前期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科予防処置Ⅲ 講師名 坂下美帆・長谷川里果 単位数 1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防処置を行う上での基盤となる知識を修得する。 ・安全にう蝕予防処置を行うために必要な患者配慮について学ぶ。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は身だしなみを整える。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、「口腔衛生学」
副教材	配布プリント（担当教員ごとに整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1. 2-1：4/10 2-2：4/13	歯面研磨・フッ化物講義 歯面研磨・フッ化物基礎実習	<ul style="list-style-type: none"> ・歯面研磨の構成と性能の特徴を述べるができる。 ・歯面研磨、洗浄、貼薬について説明できる。 ・フッ化物の特徴を説明できる。 ・ポータブルモーターの準備、片付けができる。 ・マニキン上で、歯面研磨を実施できる。 ・マニキン上で、フッ化物塗布（ゲル）を実施できる。 	203	<ul style="list-style-type: none"> ・リスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 ・予Ⅱで使用した「う蝕予防の基礎」資料 ・スカーケース（ピヤット、探針、ミラー） ・顎模型（指定部位に鉛筆で色を塗る） ・舌模型装着 ・ドライバー ・頬粘膜マックス ・器具拭きタオル ・ゴグル 	○		長谷川
3. 4/16	歯面研磨・フッ化物塗布相互実習 A	・歯面研磨、フッ化物塗布（フォーム）を安全に実施できる。					
4. 2-1：4/21 2-2：4/23	歯面研磨・フッ化物塗布相互実習 B	・歯面研磨、フッ化物塗布（フォーム）を安全に実施できる。	B01	相互実習に必要なもの。 追加があれば後日案内する。		○	長谷川
5. 4/24	歯面研磨・フッ化物塗布相互実習 C	・歯面研磨、フッ化物塗布（フォーム）を安全に実施できる。					
6. 5/15	フッ化物歯面塗布相互実習 A	・歯面研磨、フッ化物塗布（溶液）を安全に実施できる。					
7. 5/18	フッ化物歯面塗布相互実習 B	・歯面研磨、フッ化物塗布（溶液）を安全に実施できる。	B01	相互実習に必要なもの。 追加があれば後日案内する。		○	長谷川
8. 5/22	フッ化物歯面塗布相互実習 C	・歯面研磨、フッ化物塗布（溶液）を安全に実施できる。					

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
9. 2-1 : 5/26 2-2 : 5/29	小窩裂溝填塞法講義	・小窩裂溝填塞法の種類・特徴等を理解できる。	203	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 ・スクレーパー（ビレット、探針、ミラー） ・ドラパ― ・顎模型（舌模型装着） ・頬粘膜ホック ・セロテープ、油性ペン 	○		長谷川
10.	小窩裂溝填塞法実習	・小窩裂溝填塞法の術式を理解し実施できる。					
11. 6/22	う蝕活動性試験講義	・う蝕活動性試験を実施するために、その種類・手順を理解し、注意点を説明できる。	203	テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「口腔衛生学」「臨床検査」 タオル(手拭き用) ティッシュペーパー、スリットミラー、ごみ袋（小さめ）	○		坂下
12.	う蝕活動性試験実習	・う蝕活動性試験を、感染対策に考慮して実施できる。					
13. 7/9	う蝕活動性試験を用いた介入プログラム作成	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕活動性試験の結果を評価、分析できる。 ・う蝕活動性試験の結果と生活習慣から、各自のう蝕予防プログラムが作成できる。 	教室	テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「口腔衛生学」「臨床検査」配布プリント一式			
14. 9/1	う蝕活動性試験まとめ	・う蝕活動性試験について説明できる。	教室	テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「臨床検査」配布プリント一式			
15. 9/3	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物応用について説明できる。 ・歯面研磨について説明できる。 ・小窩裂溝填塞法について説明できる。 	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・予Ⅱで使用した「う蝕予防の基礎」資料 ・テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 ・配布プリント一式 			長谷川

2026年度 2年前期 実習

<専門分野>科目名 歯科予防処置Ⅳ 講師名 田澤栄美・星貴子・坂下美帆 単位数 前・後期3

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マニキン実習にて、スケーリング・ルートプレーニングの知識と技術を修得する。 ・スケーリング・ルートプレーニングの相互実習を行うことで、患者・補助者・術者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・技術や医療連携を学ぶ。また、口腔内の状態を観察する能力を養い、観察方法の知識や技術を修得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」「歯周病学 第2版」
副教材	配布プリント（整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験 ※後期授業終了後に実施）、SRP 確認テスト、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1 4/15	SRP基礎	・スケーリング・ルートプレーニングの違い、キュレットスケーラーについて説明できる。	203	筆記用具、テキスト「歯科予防処置論第2版」「歯周病学第2版」、スケーラーケース、顎模型(上顎透明歯肉・舌模型装着)	○		田澤
2 2-1:4/20 2-2:4/21	マニキン実習1	・机上及びマニキン上で、上顎前歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	スケーラーケース、顎模型(上顎透明歯肉・舌模型装着)、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、	○		
3 4/23	プロービング相互実習 オリエンテーション	相互実習に向けて術式を把握できる。	203	・予Iで使用した「口腔観察基礎知識1・2」資料 ・テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	○		星
4 4/24	マニキン実習2	・机上及びマニキン上で、上顎前歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	スケーラーケース、顎模型(上顎透明歯肉・舌模型装着)、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、	○		田澤
5 2-1:4/28 2-2:4/27	プロービング相互実習A	<ul style="list-style-type: none"> ・相互実習にて口腔観察を適切にできる ・相互実習にて歯周ポケット測定が適切にできる。 ・数値を正確に記録できる。 ・患者・術者・補助者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・技術や医療連携ができる。 ・患者配慮ができる。 	BO1	相互実習に必要なもの、 その他はオリエンテーションにて連絡する 相互実習に必要なもの、 その他はオリエンテーションにて連絡する 相互実習に必要なもの、 その他はオリエンテーションにて連絡する		○	星
7 2-1:5/7 2-2:5/1	プロービング相互実習B						
9 2-1:5/11 2-2:5/12	プロービング相互実習C						
11 5/8	マニキン実習3	・マニキン上で、上顎前歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	スケーラーケース、顎模型(上顎普通歯肉・舌模型装着)、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、	○		田澤

12	5/13	マニキン実習 4	・マニキン上で、上顎前歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	スケーラーケース、顎模型（上顎普通歯肉・舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、	○		田澤
13	5/15	マニキン実習 5	・机上及びマニキン上で、下顎前歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	マニキン実習に必要なもの一式、顎模型（下顎透明歯肉、舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式	○		
14	5/21	マニキン実習 6						
15	2-1 : 5/25 2-2 : 5/28	マニキン実習 7	・マニキン上で、下顎前歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	マニキン実習に必要なもの一式、顎模型（下顎普通歯肉、舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式	○		
16	6/4	マニキン実習 8						
17	6/15	上下顎前歯部 SRP テスト	・マニキン上で上下顎前歯部の SRP 操作が適切にできる。	203	顎模型（人工歯石を全て除去した状態）、スケーラーケース	○		
18								
19	6/19	前歯 SRP 相互実習 オリエンテーション	・相互実習の概要を説明できる。 ・相互実習の記録用紙の記入方法が説明できる。	203	マニキン実習に必要なもの一式、顎模型（下顎透明歯肉、舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式	○		
20	7/2	前歯 SRP 相互実習 A	・相互実習にて歯周ポケット測定が適切にできる。 ・相互実習にて、前歯 SRP が適切に実施できる。 ・安全に歯面研磨を実施できる。 ・患者・術者・補助者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・技術や医療連携ができる。 ・患者配慮ができる。	B01	相互実習に必要なもの。その他はオリエンテーションにて連絡する	○		
21								
22		2-1 : 7/3 2-2 : 7/9						
23								
24	7/13	前歯 SRP 相互実習 C						
25								
26	7/10	マニキン実習 9	・机上及びマニキン上で、下顎臼歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	ケーラーケース、顎模型（下顎透明歯肉・舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、	○		
27	7/16	マニキン実習 10						
28	7/16	マニキン実習 11						
29	7/22	マニキン実習 12						
30	9/1	マニキン実習 13						
31	9/3	マニキン実習 14						
32	9/4	マニキン実習 15						
33	2-1 : 9/7 2-2 : 9/8	マニキン実習 16						・机上及びマニキン上で、上顎臼歯部のシクル及びキュレットスケーラーの操作ができる。
田澤								

2026度 2年後期 実習

<専門分野> 科目名 歯科予防処置Ⅴ 講師名 坂下 美帆・長谷川里果 単位数 後期 1

授業概要	う蝕や歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識・技術・態度を習得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	配布プリント（担当教員ごとに整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
	シャープニング 講義・実習1 (135分)	<ul style="list-style-type: none"> ・シャープニングの目的と砥石の種類を述べることができる。 ・シャープニングのポイントに沿って、シッケルスクレーラーを研ぐことができる。 	203	マキコ実習に必要なもの一式、スクレーラー、黒油性サイン、ティッシュ、器具拭きタオル、顎模型の箱	○		
	シャープニング実習2	<ul style="list-style-type: none"> ・シャープニングのポイントに沿って、タルスクレーラーを研ぐことができる。 ・キュレットタイプスクレーラーの刃部形態を説明することができる。 ・シャープニングのポイントに沿って、キュレットスクレーラーを研ぐことができる。 		マキコ実習に必要なもの一式、シャープニングに必要なもの一式、黒油性サイン、ティッシュ、器具拭きタオル、顎模型の箱			
	パワースクレーラー講義	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波・エアスクレーラーの構成と性能の特徴を述べるができる。 ・それぞれの利点、欠点を説明できる ・禁忌症を説明できる ・操作方法を比較できる。 		歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」		○	
	パワースクレーラー 基礎実習	<ul style="list-style-type: none"> ・パワースクレーラーの始業準備ができる。 ・パワースクレーラーの運動の違いを比較できる。 	B01	配布プリント、顎模型（人口歯石塗布）ゴーグル、フェイスシールド、マスク、フェイスタオル			
	パワースクレーラー 相互実習 オリエンテーション (45分)	<ul style="list-style-type: none"> ・相互実習の術式・記録の記入方法を説明できる 		歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布プリント			
	パワースクレーラー 相互実習A (180分)	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波スクレーラーの操作を安全に実施できる。 ・術者・補助者・患者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・医療連携ができる。 ・患者の気持ちを考え、患者配慮しながら実習できる。 	B01	相互実習に必要なもの		○	
	パワースクレーラー 相互実習B (180分)						
	パワースクレーラー 相互実習C (180分)						

	歯面清掃器講義 (45分)	<ul style="list-style-type: none"> 歯面清掃器を操作する上で必要な知識を説明できる。 相互実習の術式・記録の記入方法を説明できる 		歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」		
	歯面清掃器 マニキン実習 A	<ul style="list-style-type: none"> 歯面清掃器の基本的な操作ができる。 術者・補助者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・医療連携ができる。 	BO1	顎模型（普通歯肉）、頬粘膜パック、ゴーグル、フェイスシールド 記録用紙、筆記用具 *詳細は後日指示	○	○
	歯面清掃器 マニキン実習 B					
	歯面清掃器 マニキン実習 C					
	歯科予防処置 V まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 超音波・エアスケーラー・歯面清掃器を操作する上で必要な知識を説明できる。 シャープニングに必要な知識を説明できる。 		「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 配布プリント一式		

2026年度 1年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 歯科保健指導Ⅰ 講師名 遠藤直美・内山綾乃

単位数 1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健指導をおこなう上での基盤となる知識と考え方を理解する。 ・口腔清掃指導の基礎として口腔清掃法の知識と技術、歯垢・歯石の診査法を修得する。 ・歯科保健指導の手順、記録、対象把握法など歯科保健指導を行なう上での基本になる考え方や方法を学ぶ。 ・履修上の注意—持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの点検をおこなう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	備考
1. 4/24	歯科保健指導総論1 (歯科保健指導とは)	歯科保健指導とは何かを述べられる。 健康の概念、予防の概念を説明できる。				遠藤
2. 4/30	歯科保健指導総論2 (口の機能 演習)	口の機能について説明できる。 (演習)		ｽﾀｯﾄﾞ ﾀｲﾌﾟ の手鏡 (以後手鏡と表記) ﾐﾈﾗﾙﾜｰﾀｰ 1本 (500ml)		遠藤
3. 5/11	歯科保健指導総論3 (口の健康と習癖)	口の健康について説明できる。 口の健康に関わる習癖(態癖)について説明できる。		手鏡		遠藤
4. 5/18	歯科保健指導総論4 (口の健康と生活行動)	口の健康に関わる生活行動について説明できる。	TAKi			遠藤
5. 6/8	歯科保健指導総論5 (行動変容)	行動変容の要素とそのステップを述べられる。 行動変容の理論を説明できる。	TAKi			遠藤
6. (1-1) 6/10 (1-2) 6/9	口腔清掃方法1 (口腔清掃の意義)	口腔清掃とプラークコントロールの意義と概要について述べられる。				遠藤
7. 6/16	口腔清掃方法2 (歯ブラシに関する知識)	歯ブラシの種類、名称、管理方法、交換時期について説明できる。	TAKi	・普段使用している歯ブラシ ・入学時に購入した歯ブラシ(各種、計5本) ・定規		遠藤
8. 6/23	口腔清掃方法3 (毛先を使ったブラッシング法)	ブラッシング方法とその為害作用の関係を説明できる。	203	・顎模型 ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・普段使用している歯ブラシ ・コップ ・手鏡 ・ﾊｯﾄﾞ ﾀｬﾙ	○	遠藤
9. 6/25	口腔清掃方法4 (デンタルフロス)	デンタルフロスの種類と使用方法を述べられる。デンタルフロスを歯間清掃目的で操作できる。	203	・顎模型、ﾄﾗｲﾊﾞｰ ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・入学時に購入したデンタルフロス ・ﾊｯﾄﾞ ﾀｬﾙ・ｺｯﾌﾟ・手鏡	○	遠藤
10. (1-1) 7/2 (1-2) 7/1	情報の収集 (ﾌﾟﾚｽﾄについて)	歯科衛生過程の考え方を説明できる。歯科保健指導を行なう為の情報収集ができる。		歯科衛生士概論Ⅰで配布されたプリント		遠藤
11. 7/6	プラーク(歯垢)・ 歯石の診査法	プラーク(歯垢)・歯石の指数(オレリー法他)を算出できる。				内山
12. 7/7	医療面接	医療面接の技法を理解し、留意点を説明できる。				遠藤

13. 7/15	聞き取り実習1	聞き取り（問診）で確認が必要な患者の情報について説明できる。	TAKi			遠藤
14. 7/17	聞き取り実習2	歯科保健指導に必要な情報を聞き取り（問診）できる。	B01	プリンター式	○ 白衣	遠藤
15. 7/21	ブランク(歯垢) 染色実習	歯垢染色剤の種類を述べられる。 自らの口腔内において、歯垢染色状況を測定できる。	203	<ul style="list-style-type: none"> ・普段使用している歯ブラシ ・コップ ・手鏡 ・ハイドロキサル ・ティッシュペーパー ・赤鉛筆（細く削っておく）、 ・黒板（ルビー）、電卓 ・リップクリーム 注）実習前の歯磨き禁止	○	内山

2026年度 1年後期 実習

<専門分野>科目名 歯科保健指導Ⅱ 講師名 遠藤直美・内山綾乃・星貴子 単位数 1

授業概要	<p>口腔清掃指導の基礎として口腔清掃法の知識と技術を習得する。 修得した口腔清掃方法を人に伝える技術を学ぶ。 ライフステージの中で、歯科保健指導Ⅱでは妊産婦期から新生児・乳児・幼児期の歯科保健指導の知識、技術を身につける。 ・履修上の注意 - 持ち物はこの教授要綱で確認、追加等については授業にて指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。</p>
教科書	「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、ブラッシングテスト、フロッシングテスト、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
	口腔清掃方法1 (脇腹を使った ブラッシング方法)	効果的なブラッシング方法を実施できる。	203	・顎模型 ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・ハンドタル ・口腔内用歯ブラシ	○		内山
	口腔清掃方法2 (歯間ブラシ他)	歯間ブラシやタフトブラシなどの補助的清掃用具の種類と使用法を説明できる。 顎模型において工夫し操作できる。	203	・顎模型、ドライバー ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・入学時に購入した 歯間ブラシ(箱ごと) タフトブラシ ・ハンドタル・コップ	○		
	口腔清掃方法3 (電動歯ブラシ)	電動歯ブラシ(音波歯ブラシや超音波歯ブラシ他)の特徴と使用効果を述べられる。	203	・普段使用している歯ブラシ ・コップ ・手鏡 ・顎模型 ・赤鉛筆 ・ハンドタル ・ティッシュペーパー (注) 実習前の歯磨き禁止	○		内山 株) 174
	術者磨き相互実習 オリエンテーション	自らの口腔内で効果的な口腔清掃方法を工夫できる。		顎模型・指導用歯ブラシ ティッシュペーパー・ハンドタル 赤鉛筆・タフト式手鏡・ 口腔内で使用する歯ブラシ			狩野
	術者磨き相互実習 A (135分)	適切な術者磨きが実施できる。 適切なブラッシング方法を指導することができる。 適切なフロッシング(指巻き法)を実施できる。	B01	口腔内で使用する歯ブラシ ティッシュペーパー ハンドタル 顎模型、指導用歯ブラシ 相互実習の準備 記録用紙		○	
	術者磨き相互実習 B (135分)						
	術者磨き相互実習 C (135分)						
	妊産婦期の 歯科保健指導	妊産婦の一般的特徴を説明できる。 妊産婦の口腔の特徴を説明できる。 妊産婦期の歯科保健行動について説明できる。					遠藤
	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導 1	新生児・乳児・幼児の一般的特徴を説明できる。 新生児・乳児・幼児の歯科保健指導に必要な基礎知識を列挙できる。					遠藤
	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導 2						
	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導相互実習 オリエンテーション (45分)	新生児・乳児・幼児期の保護者に対し行う歯科保健指導相互実習について説明できる。		プリント			
	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導実習 A	新生児・乳児・幼児期の保護者に対し、歯科保健指導ができる。	B01	プリント参照		○	
	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導実習 B						
	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導実習 C						

	ブラッシングテスト	ブラッシング方法を指導できる。	203	<ul style="list-style-type: none"> ・顎模型 ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・ハンドタル 	○		遠藤
	フロッシングテスト	マニキン上で適切なフロッシングを実施できる。 座位で適切なフロッシングができる。	203	<ul style="list-style-type: none"> ・顎模型、ドライバー ・舌模型 ・テツルフロ ・ハンドタル 	○		遠藤

2026年度 2年前期 実習

<専門分野> 科目名 歯科保健指導Ⅲ 講師名 内山綾乃・遠藤直美・狩野真沙子・堀口由紀子 単位数 3

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校などにおいて歯科保健活動をおこなうための計画や準備について学ぶ。 ・保育所での歯科保健指導実習準備を通して、幼児を対象とした集団歯科保健指導計画と準備の方法を修得する。 ・各ライフステージにおける歯科保健指導の知識を修得する。(成人期、学齢期、老年期) ・歯科保健指導相互実習において、指導用ファイルを活用し、う蝕と歯周病の説明をする。 ・歯科保健指導の相互実習を通し、歯科保健指導のプロセスと技法を体得する。 ・履修上の注意—持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの点検をおこなう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う） 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科、口腔衛生学（第4版） ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策②⑤
評価方法	期末試験（筆記試験）、指導用媒体、提出物

指導計画

テキスト、配布プリントを活用し、予習・復習をおこない授業に臨むこと。

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	白衣	備考
1. 4/14	成人期の歯科保健指導 1	成人期の歯科保健指導に必要な基礎知識を説明できる。		ポイントチェック ②⑤		狩野
2. 4/17	成人期の歯科保健指導 2	口腔内写真を観察し、歯肉の変化を説明できる。				狩野
3. 4/20	成人期の歯科保健指導 3	各種ブラッシング方法を対象者に説明できる。 「指導用ファイルを用いた歯科保健指導（成人対象）実習」の方法を列挙できる。		顎模型 指導用歯ブラシ		狩野
4. 4/22	成人期の歯科保健指導 4	「指導用ファイルを用いた歯科保健指導（成人対象）」の原稿が作成できる。		指導用ファイル 資料など		狩野
5. 4/23	集団歯科保健指導	集団歯科保健指導の場、計画、準備について述べるができる。		テキスト 「口腔衛生学 （第4版）」		遠藤
6. 4/28	保育園の歯科保健指導実習準備 1	指導をおこなうにあたっての基礎条件を列挙できる。				遠藤
7. 4/30	指導用ファイルを用いた歯科保健指導 1	「指導用ファイルを用いた歯科保健指導（成人対象）」の原稿を持ち寄り、模擬実習を実施できる。	203 TAKi	顎模型 指導用歯ブラシ 指導用ファイル		内山
8. 5/1	保育園の歯科保健指導実習準備 2	指導案を作成できる。		関係資料一式		遠藤
9. 5/7	指導用ファイルを用いた歯科保健指導 2	指導用ファイルを用いた歯科保健指導（成人対象）」の原稿を持ち寄り、模擬実習を実施できる。	203 TAKi	顎模型 指導用歯ブラシ 指導用ファイル		内山
10. 5/8	保育園の歯科保健指導実習準備 3	指導案を作成できる。 指導計画について発表できる。 他者の発表を聴講し、評価できる。		関係資料一式		遠藤

11.	5/12	保育園の歯科保健指導実習 準備 4	指導原稿を作成できる。 指導用媒体作製の計画を立案 できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		遠藤
12.	5/13	指導用ファイルを用いた 歯科保健指導3	指導用ファイルを用いて模擬 指導(成人対象)が実施できる。	各教室	顎模型 指導用歯ﾌﾞﾗｯｼ 指導用ファイル		内山
13.	5/14	保育園の歯科保健指導実習 準備 5	指導媒体を作成できる。		定規、はさみ、 カッターなど		遠藤
14.	5/14	保育園の歯科保健指導実習 準備 6	指導媒体を仕上げ完成する。		定規、はさみ、 カッターなど		遠藤
15.	5/18	指導用ファイルを用いた 歯科保健指導4 (試験)	指導用ファイルを用いて歯科 保健指導ができる。 (成人対象 う蝕)	各教室	顎模型 指導用歯ﾌﾞﾗｯｼ 指導用ファイル	○	内山
16.	5/19	保育園の歯科保健指導実習 準備 7	グループでリハーサルを行い、 指導案を改善できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式 指導原稿、媒体		遠藤
17.	5/20	保育園の歯科保健指導実習 準備 8	クラスでリハーサルを行い、指 導案を改善できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式 指導原稿、媒体		遠藤
18.	5/20	指導用ファイルを用いた 歯科保健指導5 (試験)	指導用ファイルを用いて歯科 保健指導ができる。 (成人対象 歯周病)	各教室	顎模型 指導用歯ﾌﾞﾗｯｼ 指導用ファイル	○	内山
19.	5/25	保育園の歯科保健指導実習 準備 9	最終リハーサルが実施できる。		実習当日の身だ しなみで行う		遠藤
20.	5/27	歯科保健指導相互実習1 オリエンテーション	相互実習1の手順、注意事項、 自己評価の方法について説明 できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		内山
21.	(2-1) 5/27 (2-2) 6/1	保育園の歯科保健指導実習 準備 10	実施にあたっての最終打ち合 わせをし、当日の流れを説明で きる。		自分の口腔用歯 ﾌﾞﾗｯｼ ﾃｯｼﾞｬｰﾊﾟｰ 関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		遠藤
22.	6/1	成人期の歯科保健指導 5	事例からSOAP I E形式の 業務記録の書き方を検討でき る。(グループワーク)				狩野
23	(2-1) 6/2	歯科保健指導相互実習1 A	相互実習において情報を収集 できる。	B01		○	内山
24	(2-2) 6/3						
25	(2-1) 6/8	歯科保健指導相互実習1 B	相互実習において情報を収集 できる。	B01		○	内山
26	(2-2) 6/4						
27	(2-1) 6/10	歯科保健指導相互実習1 C	相互実習において情報を収集 できる。	B01		○	内山
28	(2-2) 6/11						

29.	6/15	情報の整理	歯科保健指導相互実習で収集した情報を整理できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		内山
30.	6/16	情報の整理～実施計画	歯科保健指導相互実習で収集した情報から歯科衛生介入のための到達目標を立てることができる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		内山
31.	6/19	実施計画	歯科保健指導相互実習で収集した情報から歯科衛生介入のための到達目標と実施計画を立案できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		内山
32.	6/22	歯科保健指導相互実習2 オリエンテーション	相互実習2の手順、注意事項、自己評価の方法について説明できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		内山 (遠藤)
33.	6/24	老年期の口腔機能向上	老年期の歯科保健指導に必要な基礎知識を説明できる。 口腔機能向上の為の間接訓練の手段を説明できる。		テキスト 「高齢者歯科」		遠藤
34	2-1) 6/26 (2-2) 6/30	歯科保健指導相互実習2 A	<ul style="list-style-type: none"> 相互実習ｸﾞﾙｰﾌﾟ：歯科衛生介入を実施できる。 演習ｸﾞﾙｰﾌﾟ：指導用媒体（小児指導用）を作成できる。 	B01 教室		○	内山
35							
36	7/1	歯科保健指導相互実習2 B	<ul style="list-style-type: none"> 相互実習ｸﾞﾙｰﾌﾟ：歯科衛生介入を実施できる。 演習ｸﾞﾙｰﾌﾟ：指導用媒体（小児指導用）を作成できる。 	B01 教室		○	内山
37							
38	7/8	歯科保健指導相互実習2 C	<ul style="list-style-type: none"> 相互実習ｸﾞﾙｰﾌﾟ：歯科衛生介入を実施できる。 演習ｸﾞﾙｰﾌﾟ：指導用媒体（小児指導用）を作成できる。 	B01 教室		○	内山
39							
40.	7/9	リスクに応じた 歯科保健指導1	口臭・口腔乾燥症に対する介入方法を説明できる。 禁煙指導への介入法方法を説明できる。				遠藤
41.	7/14	実習記録作成	歯科保健指導相互実習2で実施した実習記録（SOAP I E形式）を作成できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		内山
42.	9/2	学齢期の歯科保健指導	学齢期の歯科保健指導に必要な基礎知識を説明できる。				内山
43.	(2-1)9/7 (2-2)9/8	学校歯科保健	学校歯科保健の基礎知識を説明できる。		テキスト 「口腔衛生学 (第4版)」		内山
44.	9/9	学校歯科保健活動の実際	学校歯科保健をはじめ、地域での歯科保健活動の実例を知る。				堀口
45.	9/9	リスクに応じた 歯科保健指導2	媒体を用いて禁煙指導の模擬指導が実施できる。	203	媒体 (禁煙指導用)	○ 予防衣	遠藤

2026年度 2年後期 実習

<専門分野>科目名 歯科保健指導Ⅳ 講師名 遠藤直美・内山綾乃・星貴子 単位数 1

授業概要	学校における歯科保健指導を実施する能力を身につけるために、小学校実習および特別支援学校実習の準備を通して、集団指導を計画・実施する方法を学ぶ。 各ライフステージにおける問題点を整理し、歯科保健指導のポイントを確認する。 ・履修上の注意 - 持ち物はこの教授要綱で確認、追加等については授業にて指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	備考
	小学校の歯科保健指導実習準備1	小学校の歯科保健指導実習の基礎事項を説明できる。				内山
	小学校の歯科保健指導実習準備2	担当学年の歯科保健指導案を作成できる。		配布資料一式		
	小学校の歯科保健指導実習準備3	担当学年のレベルに合わせた歯科保健指導原稿を作成できる。		配布資料一式 原稿作成の資料		
	小学校の歯科保健指導実習準備4	担当学年のレベルに合わせた指導用媒体を作製できる。		配布資料一式 はさみ、カッター、 定規など媒体作製のための 用具 媒体作製に必要な資料 指導案・指導原稿		
	小学校の歯科保健指導実習準備5					
	小学校の歯科保健指導実習準備6	集団指導ミーティングを行い、問題点を検討し、修正できる。		配布資料一式 作製した媒体 指導原稿など	○	
	小学校の歯科保健指導実習準備7					
	小学校の歯科保健指導実習準備8					
	小学校の歯科保健指導実習準備9					
	小学校の歯科保健指導実習準備10	乳歯と永久歯の識別ができる。 小学生への個別支援法を説明できる。		配布資料一式 作製した媒体 指導原稿など		
	小学校の歯科保健指導実習準備11	個別指導ミーティングを行い、実習全体の流れを説明できる。 小学校実習の留意点を説明できる。		配布資料一式 小学校実習での児童の 持ち物	○	
	特別支援学校の 歯科保健指導実習準備1	特別支援学校（高等学校）の歯科保健指導の留意点を説明できる。 特別支援学校実習の目標を述べる。				遠藤
	特別支援学校の 歯科保健指導実習準備2	知的障害者への対応における留意点を列挙できる。 特別支援学校での歯科保健指導の留意点を説明できる。	TAKi 合同	配布資料一式		
	特別支援学校の 歯科保健指導実習準備3	特別支援学校における歯科保健指導の計画を立案できる。 特別支援学校実習の概要を説明できる。		配布資料一式		
	ライフステージごとの 歯科保健指導まとめ	各ライフステージの特徴を整理できる 各ライフステージの歯科保健指導のポイントを整理できる。 各ライフステージの問題点を列挙できる。				内山

2026年度 3年前期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科保健指導 V 講師名 遠藤直美・内山綾乃・星貴子 単位数 1

授業概要	歯科保健指導実践力を高めるために、 ・各ライフステージにおける歯科保健指導の知識を修得する。(思春期・青年期) ・思春期、青年期の歯科保健指導準備を通して、小集団指導方法と歯科保健指導計画や準備方法を修得する。 ・症例検討実習を通して歯科保健指導計画作成の能力を養う。(乳幼児期・老年期) ・歯科保健指導論の知識を整理する。 ・履修上の注意一持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は身だしなみの点検をおこなう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
副教材	配布プリント(ファイリング整理して、テキストと同様に扱う) 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 歯科保健関係統計資料
評価方法	期末試験(筆記試験)、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	備考
1. 6/5	乳幼児期の症例検討実習1	乳幼児の事例から歯科衛生問題点を見つけ、必要な指導内容を列挙できる。		保Ⅱ：乳幼児の歯科保健指導で配布したプリント DH 概論Ⅱで配布された歯科衛生過程のプリント		遠藤
2. 6/12	乳幼児期の症例検討実習2	各自が考えた指導内容について、グループで検討し症例に添った指導計画を立案できる。		2年次作製した指導用ファイル(乳幼児用) *計画立案のために使用する		遠藤
3. 6/18	乳幼児期の症例検討実習3	検討した指導計画を実施できる。	203	2年次作製した指導用ファイル(乳幼児用) *相互実習で使用する	○	遠藤
4. 7/10	老年期の症例検討実習1	高齢者(要支援)歯科保健指導の基礎知識を説明できる。		歯科衛生過程プリント 高齢者歯科、摂食嚥下リハビリテーションのテキスト		星
5. 7/21	老年期の症例検討実習2	老年期の事例から情報の整理、歯科衛生問題の抽出、分析、解釈ができる。		歯科衛生過程プリント、高齢者歯科、摂食嚥下リハビリテーション他必要なテキスト		星
6. 7/22	思春期・青年期の歯科保健指導実習1	思春期・青年期の歯科保健指導の基礎知識を説明できる。				遠藤
7. 7/23	老年期の症例検討実習3	歯科衛生診断から歯科保健指導計画を討議できる。		歯科衛生過程プリント、高齢者歯科、摂食嚥下リハビリテーション他必要なテキスト		星
8. 8/19	思春期・青年期の歯科保健指導実習2	青年期の歯科保健指導の指導計画を立案できる。(役割分担、指導案、周知ポスター作成)	TAKi	指導用ファイル 指導案作成に必要なもの		遠藤
9. 8/20	歯磨剤の知識	歯磨剤の組成と構造について説明できる。	TAKi 合同	事前に配布するテキスト		日本歯磨工業会 (内山)
10. 8/20	思春期・青年期の歯科保健指導実習3	指導用媒体が作成できる。	TAKi	媒体(パワーポイント)作成に必要な物		遠藤

11. 8/27	思春期・青年期の 歯科保健指導実習 4	指導準備ができる。	TAKi	作成した媒体(パワーポイント データ)		遠藤
12. 9/3	思春期・青年期の 歯科保健指導実習 5	青年期の小集団と個人に計画通り 歯科保健指導を実施できる。	TAKi BO1	準備した媒体 実習に必要なもの	白衣	遠藤
13. 9/3	歯科保健指導の まとめ	歯科保健指導の知識を整理できる。		配布プリント、必要なテキスト		星
14. 9/4	老年期の 症例検討実習 4	歯科保健指導計画を討議し、計画 を立案できる。		歯科衛生過程プリント、高齢者 歯科、摂食嚥下リハビリテーシ ョン他必要なテキスト		星
15. 9/17	老年期の 症例検討実習 5	検討結果を発表できる。 他者の発表を聴講し、評価できる。	TAKi	高齢者歯科、摂食嚥下リハビリ テーションのテキスト		星

2026年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 食生活指導 講師名 高野 由美子 単位数 1

授業概要	歯科衛生士が行う食生活指導の役割を理解し、食生活改善に必要な知識を学ぶ。 ・食品の機能と含まれる栄養素、食品の表示を学ぶ。 ・各ライフステージの特徴と栄養ケアの要点を学ぶ。 ・栄養ケア・マネジメントの概要を習得し、歯科衛生士の役割を学ぶ。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能3 栄養学」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「第2版 歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
副教材	日本食品標準成分表(八訂)女子栄養大学出版部 配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	食事と食品Ⅱ	食品に含まれる栄養素を説明できる。 代用甘味料の種類を類別できる。 非発酵性の代用甘味料を説明できる。	45分
	食事と食品Ⅲ	食品の機能を説明できる。 食品表示法に基づく表示を説明できる。 特別用途食品と保健機能食品を説明できる。	
	ライフステージと栄養Ⅰ	妊娠期・授乳期・乳児期における栄養摂取の要点を説明できる。	
	ライフステージと栄養Ⅱ	幼児期・学童期・思春期における栄養摂取の要点を説明できる。	
	ライフステージと栄養Ⅲ 成人期	成人期における栄養摂取の要点を説明できる。 成人期の主な疾患と食事療法を説明できる。	
	ライフステージと栄養Ⅳ 高齢期	高齢期における栄養摂取の要点を説明できる。 高齢期の主な疾患と栄養ケアを説明できる。	
	栄養ケア・マネジメントⅠ	栄養ケア・マネジメントにおける歯科衛生士の関わりを説明できる。 栄養スクリーニングと栄養アセスメントを説明できる。	
	栄養ケア・マネジメントⅡ	栄養ケア計画の実施とモニタリング・評価を説明できる。	

2026年度 1年前期 実習

<専門分野> 科目名 歯科診療補助Ⅰ 講師名 狩野真沙子・佐々木ひろみ 単位数 1

授業概要	<p>歯科診療補助を行なう上での基盤となる知識と技術および態度を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質な歯科医療を提供する為に、医療安全対策の必要性和感染予防対策の基礎を理解する。 ・患者が安心・安全な歯科医療を受けられるよう環境を整える。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 <p>実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。</p> <p>全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。</p>
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論 第2版、歯科機器、微生物学
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1. 1-1 5/19 1-2 5/20	歯科診療補助 総論	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療補助の業務内容を説明できる。 ・歯科診療補助の法的解釈を説明できる。 ・歯科診療補助における歯科衛生士の役割を説明できる。 		持参 「歯科診療補助論」 教授要綱			佐々木
2. 1-1 5/21 1-2 5/22	医療安全と 感染予防	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全の概念とその対策を説明できる。 ・インシデント・アクシデントについて説明できる。 ・偶発事故や緊急時の対応を選択できる。 ・歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。 ・感染症とワカチについて説明できる。 ・スリッパ・ドブ・グローブを説明できる。 ・感染事故時の対応を判断できる。 ・医療廃棄物を分類できる。 		持参 「歯科診療補助論」 「微生物学」			狩野
3. 1-1 5/27 1-2 5/28	滅菌と消毒 1	<ul style="list-style-type: none"> ・滅菌・消毒・洗浄について説明できる。 ・滅菌法について説明できる。 		持参 「歯科診療補助論」 「微生物学」 「歯科機器」			狩野
4. 6/15	滅菌と消毒 2	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒薬の取り扱いについて説明できる。 ・薬液をつくるために必要な薬液量の計算ができる。 ・薬品の管理方法が分かる 					狩野

5.	1-1 6/30 1-2 7/2	歯科診療における 基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療室の環境、設備について説明できる。 		教材 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			狩野
6.	1-1 7/15 1-2 7/14	共同動作 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・共同動作の目的が説明できる。 ・歯科診療における歯科衛生士の役割について説明できる。 ・術者・補助者・患者の適切なポジショニングについて説明できる。 ・パキウム操作について説明できる。 ・スリーウェイリフト操作について説明できる。 	203	教材 「歯科診療補助論」 顎模型（舌模型をセット） 頬粘膜マックス		○	狩野
7.	1-1 7/23 1-2 7/22	感染予防対策 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理、感染予防対策、消毒滅菌法、診療室の設備、患者対応、共同動作について説明できる。（歯科診療補助Ⅰの復習） 		教材 「歯科診療補助論」 「微生物学」 「歯科機器」			狩野
8.	9/7	共同動作 マニキン 実習1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な手指消毒ができる。 ・マスク・ゴーグル・グローブを正しく着脱できる。 ・歯科用ユニットを操作できる。 ・マニキンの取り扱いができる。 ・術者・補助者・患者のポジショニングができる。 	BO1	配布プリント マスク ゴーグル フェイシャル 顎模型（舌模型をセット） 頬粘膜マックス 器具拭き用タオル		○	狩野
9.	共同動作 マニキン 実習2	<ul style="list-style-type: none"> ・ライティングができる。 ・パキウム操作ができる。 ・スリーウェイリフト操作ができる。 ・感染予防策を実施できる。 						
10.	1-1 9/9	共同動作 相互実習 A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な手指消毒ができる。 ・マスク・ゴーグル・グローブを正しく着脱できる。 	BO1	配布プリント マスク ゴーグル フェイシャル 筆記用具		○	狩野
11.	1-2 9/8							
12.	1-1 9/10	共同動作 相互実習 B	<ul style="list-style-type: none"> ・術者・補助者・患者の適切なポジショニングができる。 ・適切なライティングができる。 ・適切なパキウム操作ができる。 ・適切なスリーウェイリフト操作ができる。 	BO1			○	狩野
13.	1-2 9/11							
14.	9/14	共同動作 相互実習 C	<ul style="list-style-type: none"> ・患者を安全に誘導できる。 ・感染予防策を実施できる。 				○	狩野
15.								

2026年度 1年後期 実習

<専門分野> 科目名 歯科診療補助Ⅱ 講師名 狩野真沙子・小林郷子・須坂美咲 単位数 1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療の補助に必要な知識・技術・態度を修得する。 ・歯科治療で用いられる主要材料の性質、使用方法を修得する。 ・安心・安全な歯科医療を提供するために、医療安全対策および、感染予防対策を実施できる。 ・ラバーダム防湿ができる。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論（第2版）、保存修復学・歯内療法学、歯科機器、歯科材料、小児歯科学、臨床検査法
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物、実技試験

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
	衛生材料	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生材料の用途を説明できる ・衛生材料を作製できる 	203	テキスト 「歯科診療補助論」 *ハサミ、定規、 プロ-針、プロ-材カ- ピレット	○		長谷川
	保存修復時の 診療補助1	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔検査に使用する器材とその取り扱いを説明できる ・前準備に使用する器材とその取り扱いを説明できる ・切削用器具・器材とその取り扱いを説明できる 		テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
	保存修復時の 診療補助2	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポジットレジン修復の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる ・グラスアイオノマーセメント修復の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる ・インレー修復の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる 		テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
	保存修復時の 診療補助3	<ul style="list-style-type: none"> ・隔壁法に用いる器具の操作ができる ・歯肉排除法に用いる器材の操作ができる ・歯間分離法に用いる器材の操作ができる 	203	テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」	○		長谷川
	保存修復時の 診療補助4 (器材テスト)	<ul style="list-style-type: none"> ・保存修復治療に使用する器材の名称と用途を説明できる 		テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林

	合着材、接着材 講義	<ul style="list-style-type: none"> 合着材、接着材の特徴、種類、用途を説明できる 合着材、接着材、仮封材、仮着セメントの準備、計量を行うことができる 	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		小林
	仮封材・仮着材 講義	<ul style="list-style-type: none"> 仮封材、仮着セメントの特徴、種類、用途を説明できる 仮封材、仮着セメントの準備計量を行うことができる 					
	歯科材料の 取り扱い実習1 (合着材、接着材、仮封材、仮着セメント練和実習)	<ul style="list-style-type: none"> 合着材、接着材、仮封材、仮着セメントの練和方法を説明できる 合着材、接着材、仮封材、仮着セメントを手順に沿って練和できる 	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		長谷川
	歯科材料の 取り扱い実習2 (合着材、接着材、仮封材、仮着セメント練和) *実技試験含む						
	患者対応1	<ul style="list-style-type: none"> 歯科診療所における患者対応の基本について説明できる 特別な配慮が必要な患者対応について説明できる(小児・障害者・高齢者・妊婦) 歯科衛生士が関わる主な全身疾患とその対応が説明できる 		テキスト 「歯科診療補助論」 「小児歯科」 「臨床検査」			松本
	患者対応2						
	歯科診療補助論 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 保存修復治療の診療の流れを説明できる 保存修復治療時に使用する器材を説明できる <ul style="list-style-type: none"> セメントの用途や特徴を説明できる。 		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 「歯科材料」 配布プリント			小林
	うが-ダム防湿 マニキ1	<ul style="list-style-type: none"> うが-ダム防湿に使用する器材名、用途を説明できる うが-ダム防湿に使用する器材の取り扱いができる うが-ダム防湿ができる うが-ダム防湿を実施する上での患者配慮について説明できる 	203	テキスト 「歯科診療補助論」 顎模型 舌模型 頬粘膜ホックス	○		松本
	うが-ダム防湿 マニキ2						
	うが-ダム防湿 マニキ3						

2026年度 2年前期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科診療補助Ⅲ 講師名 小林郷子・遠藤直美 単位数 2

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確で安全な歯科医療を提供する為に、チェアサイドでの診療の介助を理解する。 ・ 歯科診療の補助をおこなう上で必要な治療の手順、薬剤および器材の使用法を修得する。 ・ 歯科治療で用いられる主要歯科材料の性質、使用方法を修得する。 ・ 履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論、歯科材料、歯科機器、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物、実技試験

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1 2-1 4/14	共同動作 相互実習 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な手指消毒ができる。 ・ マスク・ゴーグル・グローブを正しく着脱できる。 ・ 歯科用ユニットを操作できる。 	BO1	持参 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 相互実習に必要なもの 机インターン配布プリント		○	遠藤
2 2-2 4/15							
3 2-1 4/17	共同動作 相互実習 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切なホジシングが実施できる。 ・ 適切なフライングができる。 ・ バキューム操作ができる。 ・ スリケイリッジ操作ができる。 ・ 器具の取り扱い・受け渡しを実施できる。 					
4 2-2 4/20							
5 2-1 4/21	共同動作 相互実習 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォールドテクニックの基本動作を実施できる。 ・ 感染予防策を実施できる。 					
6 2-2 4/22							
7. 2-1 4/21 2-2 4/22	歯内療法時の 診療補助 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯髄疾患の種類と症状を説明できる ・ 歯髄の保存療法に使用する器材とその取り扱いを説明できる。 	持参 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」				小林
8. 2-1 4/27 2-2 4/28	歯内療法時の 診療補助 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麻酔抜髄法の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・ 根管治療に使用される薬剤を説明できる。 ・ 根管充填の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 	持参 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート				小林

9. 5/19	歯内療法時の 診療補助3 (器材テスト)	<ul style="list-style-type: none"> 歯内療法に使用する器材の名称と用途を説明できる。 外科的歯内療法の種類、適応症および術式を説明できる。 		対外 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
10. 2-1 5/12 2-2 5/11	歯周外科治療時の 診療補助1	<ul style="list-style-type: none"> 歯周治療の原因を説明できる 歯周治療の流れを説明できる。 		対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
11. 5/18	歯周外科治療時の 診療補助2	<ul style="list-style-type: none"> 歯周外科治療の種類を説明できる。 歯周外科治療の手順を説明できる。 歯周外科治療に使用する薬剤や器具を説明できる。 		対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
12. 5/26	歯周外科治療時の 診療補助3	<ul style="list-style-type: none"> 歯周パットの目的を説明できる。 歯周パットの装着方法を説明できる。 歯周パットの練和ができる。 歯周パッド装着後の患者への注意事項を説明できる。 	203	対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型（下顎の歯肉を外す）、スクラップ（ミラ、ビレット、探針）	○		小林
13. 6/3	歯周外科治療時の 診療補助4 (器材テスト)	歯周外科治療に使用する器材の名称と用途を説明できる		対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
14. 6/15	補綴治療時の 診療補助1	<ul style="list-style-type: none"> 補綴装置の種類とその構造を説明できる。 クラウン・ブリッジの製作手順、使用する器材とその取り扱いについて説明できる。 クラウン・ブリッジ治療前・治療中・治療後の患者指導ができる。 		対外 「歯科補綴」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
15. 6/23	補綴治療時の 診療補助2	<ul style="list-style-type: none"> 有床義歯製作の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 全部床義歯治療前・製作中・装着後の患者指導ができる。 		対外 「歯科補綴」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
16. 7/7	補綴治療時の 診療補助3 (器材テスト)	歯科補綴治療に必要な器材の名称と用途を説明できる。		対外 「歯科補綴」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
17. 2-1 6/2 2-2 5/27	印象材講義・実習	各種印象材の特徴を説明できる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		小林

18.	6/9	シリコンゴム 印象材実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ジコ-ジコ M印象材を使用した連合印象の手順を説明できる。 ・ジコ-ジコ M印象材の練和ができる。 	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型、頬粘膜マックス 配布プリント、窩洞歯 (授業前までに付け替えておく)	○		小林
19.	6/10	アルジ ネット・寒天印象材 講義実習	寒天印象材とアルジ ネット印象材の特徴を説明できる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント	○		小林
20	6/16	アルジ ネット印象材 練和練習 1	<ul style="list-style-type: none"> ・アルジ ネット印象材の計量ができる ・アルジ ネット印象材を練和できる。 ・アルジ ネット印象材をトル-に盛ることができる 	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント	○		小林
21	6/26	アルジ ネット印象材 練和練習 2						
22	2-1 6/30	寒天・アルジ ネット印象材 取り扱い実習	マ-キ-上で寒天印象材とアルジ ネット印象材を用いた連合印象採得を手順通りに実施できる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型・ドラバ- 頬粘膜マックス 窩洞歯 (授業前までに付け替えておく)	○		小林
23	2-2 7/1							
24	2-1 7/13	上下顎印象採得 実習 *実技試験含む	マ-キ-上でアルジ ネット印象材を用いた上下顎の印象採得を実施できる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型 頬粘膜マックス	○		小林
25	2-2 7/14							
26.	7/8	石膏講義	各種石膏の特徴を説明できる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		小林
27.	7/21	石膏注入実習	マ-キ-上で採得した印象体に石膏を注入できる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型・頬粘膜マックス	○		小林
28.	9/2	TeC 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・暫間被覆冠の目的を説明できる。 ・暫間被覆冠製作のために必要な器材を説明できる。 ・暫間被覆冠の製作方法を説明できる。 		対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」			小林
29	2-1 9/8	TeC 製作 1	<ul style="list-style-type: none"> ・既製冠を利用して右上中切歯の暫間被覆冠を製作できる。 ・暫間被覆冠の目的を説明できる。 ・暫間被覆冠製作のために必要な器材を説明できる。 ・暫間被覆冠の製作方法を説明できる。 	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント 顎模型、ドラバ-、 ホ-ケットフィック、小筆、 鉛筆 スケ-ラ-セット (ピ-ソット、 探針、ミ-)、油性マ- ック (細) マスク、ゴ-グル	○		小林
30	2-2 9/7	TeC 製作 2						

2026年度 2年後期 実習

<専門分野>科目名 歯科診療補助Ⅳ 講師名 小林郷子・狩野真沙子・須坂美咲 単位数 2

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療の補助をおこなう上で必要な治療の手順、薬剤および器材の使用法を修得する。 ・歯科治療で用いられる主要歯科材料の性質、使用方法を修得する。 ・口腔写真撮影の目的と取り扱い方法を修得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論、歯科機器、歯科材料、口腔外科・歯科麻酔（第2版）、歯科矯正学（第2版）、小児歯科学、高齢者歯科学、障害者歯科学、歯科放射線学 他
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
	印象採得相互実習 利用セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・印象採得の手順を説明できる。 ・印象採得時の注意事項を説明できる ・印象採得時の感染対策方法を説明できる。 	203	テキスト 「歯科診療補助論」 顎模型 配布プリント	○		小林
	印象採得 相互実習 A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用ネット印象材を用いて、上下顎の印象採得ができる。 ・印象採得時に患者への配慮ができる。 	B01	掲示参照 配布プリント	○	○	小林
	印象採得 相互実習 B						
	印象採得 相互実習 C						
	小児歯科治療時の 診療補助	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の歯科診療時における診療補助について説明できる。 ・小児歯科治療に必要な器具・材料を説明できる。 		テキスト 「小児歯科」 「歯科診療補助論」			松本
	障害者歯科治療時の 診療補助	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の歯科治療時における診療補助について説明できる。 ・障害者対応時の留意事項を説明できる 		テキスト 「障害者歯科」 「歯科診療補助論」 「小児歯科」			松本
	口腔外科治療時の 診療補助 1	<ul style="list-style-type: none"> ・普通抜歯・難抜歯の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・消炎手術・嚢胞摘出術・歯槽骨整形術に使用する器材とその取り扱いについて説明できる ・局所麻酔の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 		テキスト 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林

	□ 口腔外科治療時の診療補助2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 局所麻酔に使用する器材（麻酔薬、注射器、注射針）の取り扱いができる。 ・ 切開に使用する器材（替え刃メス、メスホルダー）の取り扱いができる。 ・ 縫合に使用する器材（持針器・縫合糸・縫合針）の取り扱いができる。 	203	テキスト 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」	○		長谷川
	□ 口腔外科治療時の診療補助3（器材テスト）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔外科治療に使用する器材の名称と用途を説明できる。 		テキスト 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
	高齢者歯科治療時の診療補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の歯科治療時における診療補助について説明できる。 ・ 高齢者対応時の留意事項を説明できる 		テキスト 「高齢者歯科」 「歯科診療補助論」			松本
	矯正治療時の診療補助1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正装置の種類を説明できる ・ 矯正装置の用途を説明できる ・ バンド合着の手順と使用器材を説明できる。 ・ バンド撤去の手順と使用する器材を説明できる。 		テキスト 「歯科矯正」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
	矯正治療時の診療補助2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイレクトボンディングの手順と使用器材の説明ができる。 ・ アーチワイヤー・マルチブラケット装置の撤去の手順と使用器材が説明できる。 ・ 矯正装置装着前・装着時、矯正治療中・治療後の患者指導について説明できる。 		テキスト 「歯科矯正」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
	矯正治療時の診療補助3（器材テスト）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正治療に使用する器材の名称と用途を説明できる。 		テキスト 「歯科矯正」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
	患者介助講義	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイタルサインの測定方法を説明できる。 ・ 一次救命処置の対応が説明できる ・ 全身偶発症の対応を選択できる。 ・ 高齢者・障害者対応時の留意事項を説明できる 		テキスト 「歯科診療補助論」 「臨床検査」 「障害者歯科」 配布プリント			松本
	患者介助実習1	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイタルサインが測定できる。 ・ 高齢者・障害者への対応ができる。 ・ 高齢者・障害者への配慮ができる。 	TAKI	テキスト 「歯科診療補助論」 前回配布プリント、 マスク、耳栓、 手拭きタオル、 ※上下白衣で参加	○		松本
	患者介助実習2						

		口腔写真講義	<ul style="list-style-type: none"> 口腔内写真の構図を説明できる。 口腔内写真撮影時の注意点を説明できる。 口腔内写真撮影時の姿勢とポジションを説明できる 	203	対処 「歯科診療補助論」 顎模型 頬粘膜ボックス	○		長谷川
		口腔写真撮影相互実習 A	<ul style="list-style-type: none"> 規格性を持った口腔写真を撮影できる。 口腔写真撮影時の患者対応ができる。 	B01	前回指示通り		○	長谷川
		口腔写真撮影相互実習 B						
		口腔写真撮影相互実習 C						
		周術期における診療補助	<ul style="list-style-type: none"> 周術期における診療補助について説明できる。 		対処 「歯科診療補助論」 「高齢者歯科」 「口腔外科・歯科麻酔」			松本
		エックス線撮影における診療補助	<ul style="list-style-type: none"> エックス線撮影における診療補助について説明できる 		対処 「歯科診療補助論」 「歯科放射線学」 顎模型			松本
		歯科材料の知識まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 印象材の種類、特徴、用途を説明できる。 各種セメントの種類、特徴、用途を説明できる 		対処 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント			小林
		セメントの取り扱い実習	<ul style="list-style-type: none"> 仮封の目的を述べる事ができる。 窩洞歯に仮封ができる。 接着材の使用手順を説明できる 接着材の準備ができる 	203	対処 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント 顎模型（Ⅱ級インレー付き窩洞歯に付け替えてくる）	○		小林
		歯科臨床と診療補助のまとめ1	<ul style="list-style-type: none"> 口腔外科治療時における診療補助について説明できる。 歯科麻酔治療時における診療補助について説明できる。 矯正歯科治療時における診療補助について説明できる。 		対処 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 配布プリント			小林
		歯科臨床と診療補助のまとめ2	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科、障害者歯科、高齢者歯科、周術期、エックス線撮影の診療補助について説明できる 		対処 「歯科診療補助論」 配布プリント			松本

2026年度 3年前期 実習

<専門分野> 科目名 歯科診療補助Ⅴ 講師名 小林郷子・狩野真沙子 単位数 1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科臨床と診療補助に関する知識、技能および対応を修得する。 ・ 履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論、歯科機器、歯科材料、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴学、口腔外科学・歯科麻酔学、歯科矯正学、小児歯科学、臨床検査、微生物学、障害者歯科学、高齢者歯科学、歯科放射線学 歯科衛生士国家試験 ポイントチェック①～⑤
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	備考
1. 4/24	各論:歯科材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科用石膏の特徴、種類および用途を説明できる。 ・ 印象材の特徴、種類および用途を説明できる。 ・ 合着材・接着材の特徴、種類および用途を説明できる。 ・ 仮封材・仮着材の特徴、種類および用途を説明できる。 ・ ワックスの特徴、種類および用途を説明できる。 		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」		小林
2. 4/30	各論:保存修復	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前準備に使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・ 切削用器具・器材とその取り扱いを説明できる。 ・ 直接修復法の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・ 間接修復法の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 		テキスト 「歯科診療補助論」 「保存修復・歯内療法」 「歯科機器」		小林
3. 5/8	各論:歯内療法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯髄処置の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・ 根管処置の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 		テキスト 「歯科診療補助論」 「保存修復・歯内療法」 「歯科機器」		小林
4. 5/15	各論:歯周外科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周外科治療の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・ 歯周外科治療に使用する薬剤の種類と用途を説明できる。 ・ 歯周パックの種類とその取り扱いを説明できる。 		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯周病学」 「歯科機器」		小林

5. 6/4	各論:歯科補綴	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウンブリッジ装着時の器材と準備を説明できる。 ・プロビジョナルレストレーションに用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・有床義歯装着時の器材と準備を説明できる。 ・顎間関係の記録に用いる器材と取り扱いを説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科補綴」 「歯科機器」		小林
6. 6/5	各論:医療安全	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理、感染予防対策、消毒滅菌法、診療室の設備を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科機器」		狩野
7. 6/12	各論:口腔外科	<ul style="list-style-type: none"> ・局所麻酔に用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・口腔外科小手術に用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・止血処置に用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・縫合処置に用いる器材と取り扱いを説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科機器」		小林
8. 6/18	各論:共同動作患者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・共同動作に関わる診療の補助を説明できる。 ・特別な配慮を必要とする患者への対応を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「高齢者歯科」		狩野
9. 7/2	各論:臨床検査値 エックス線撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査の手順・検査値を説明できる。 ・エックス線撮影時の診療の補助を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科放射線学」 「臨床検査」 昨年授業で配布した冊子		狩野
10. 7/10	各論:歯科矯正	<ul style="list-style-type: none"> ・不正咬合を説明できる。 ・不正咬合の原因を説明できる。 ・矯正装置の種類を説明できる。 ・矯正歯科治療に用いる器材と取り扱いを説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科矯正」 「歯科機器」		小林
11. 7/16	各論:小児歯科 障害者歯科	<ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科治療時の診療の補助を説明できる。 ・障害者歯科治療時の診療の補助を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「小児歯科」 「障害者歯科」 昨年授業で配布した冊子		狩野
12. 7/24	各論:高齢者歯科 周術期	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者歯科治療時の診療の補助を説明できる。 ・周術期における診療の補助を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「高齢者歯科」 昨年授業で配布した冊子		狩野
13. 8/19	歯の漂白	<ul style="list-style-type: none"> ・漂白法の適応症を説明できる。 ・漂白法の手順を説明できる。 ・漂白法の器材・薬剤の準備ができる。 ・漂白後の術後指導の内容を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「保存修復・歯内療法」 「国家試験® イトチック®」		狩野
14. 9/4	各論:救急救命 麻酔	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急時の対応を説明できる。 ・麻酔を使用する歯科治療時の診療の補助を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」 「口腔外科」 昨年授業で配布した冊子		狩野
15. 9/4	危険予知訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・インシデントを説明できる。 ・アクシデントを説明できる。 ・KYT（危険予知訓練）を実施し、診療室に潜む危険を予測できる。 ・KYT（危険予知訓練）を実施し診療中の危険防止対策を説明できる。 	テキスト 「歯科診療補助論」		小林

2026年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 臨床検査法 講師名 曾根伸治・中井未来 単位数 1

授業概要	身体の異常や症状を伴わない病気について、生体あるいは検体検査から知ること、診断の確定や治療方針の決定に利用される臨床検査を説明できる。
教科書	歯科衛生学シリーズ 臨床検査（医歯薬出版株式会社；全国歯科衛生士教育協議会監修）
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
	序論/ 検体検査の実際	病院での臨床検査の実際を画像・動画で解説するので、検査室の概要が説明できる	曾根 45分
	1章/ 臨床検査と歯科衛生士の役割	臨床検査の種類と概要および臨床判断値について説明できる	曾根
	3章/ 血液学的検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血方法および検体の取り扱いを理解して、説明できる 血球数カウントなどの血液検査の基本を理解して、説明できる 血栓止血検査の概要を理解して、説明できる 	中井
	5章/ 肝機能の検査 6章/ 腎機能の検査 尿一般検査	<ul style="list-style-type: none"> 肝機能、腎機能の検査を理解して、説明できる 尿一般検査が実施でき、その結果を解釈できる 	中井
	7章/ 糖尿病検査 8章/ 代謝・内分泌の検査	<ul style="list-style-type: none"> 糖代謝の検査を理解して、説明できる ホルモン検査を理解して、説明できる 	中井
	2章/ 生理機能検査（実習） 血圧測定、生理検査の実際	<ul style="list-style-type: none"> 体温、脈拍、血圧測定ができる 生理機能検査（心電図、酸素飽和度など）の概要が説明できる 	曾根 TAKI
	2章/ 生理機能検査 4章/ 感染症検査	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸および肺機能検査が説明できる 細菌検査を理解して、説明できる ウイルス感染症検査を理解して、説明できる 	曾根
	9章/ 免疫・血清学的検査 （実習の講義）血液型検査 10章/ 病理検査 11章/ 画像検査 X線・CT・超音波・内視鏡	<ul style="list-style-type: none"> 炎症、アレルギーおよび自己免疫疾患検査を理解して、説明できる 血液型検査および輸血に必要な不規則抗体や交差試験を理解して、説明できる 病理検査を理解して、説明できる X線・CT・超音波・内視鏡などの画像検査を理解して、説明できる 	曾根

2026年度 3年前期・後期

<専門分野> 科目名 医療保険事務 講師名 佐々木ひろみ 単位数 1

授業概要	保険診療の概念を理解し、医療保険制度の体系について習得する。 歯科衛生士が関わる歯科診療報酬について理解する。 ⇒保険証、電卓を持参（スマートフォンは不可）
教科書	「歯科診療報酬入門」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 8/20	医療保険制度の概要と 保険点数表総論①	日本の医療保険制度について説明できる。 歯科保険点数の概要を説明できる。 主な傷病名の略称を正確に記述できる。	
2. 8/27	保険点数表総論②と 算定ルール	主な診療行為の略称を正確に記述できる。 歯科保険点数算定のルールについて概要を説明できる。 カルテの作成ができる。	保険証 持参
3. 9/3	歯科衛生士に関する 項目①	歯周治療の流れを説明できる。 保険診療における歯周治療の項目と算定方法を説明できる。	電卓持 参
4. 後期	歯科衛生士に関する 項目②		
5. 後期	歯科衛生士に関する 項目③		
6. 後期	事例演習①		
7. 後期	事例演習②とまとめ		
8. 後期	期末試験（50分）	期末試験及び試験解説	電卓持 参

2026年度 1年前期 実習

〈専門分野〉 科目名 臨地実習 I 講師名 各臨地実習指導者 単位数 前・後期 1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学内で学ぶ知識や技術が、臨床でどのように応用されているかを理解する。 ・歯科衛生士の役割を学ぶ。 <p>－履修上の注意点－</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以下のような行為があった場合は学則第 22 条に基づき懲戒する。 <ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習ノートの記録紙の検印や署名に不正があった場合 ・臨地実習ノートの記録内容に偽造があった場合 ・その他不正とみられる行為があった場合 2. 感染対策上、行動自粛がみられない場合は、外部での実習が中止となることがある。
教科書	なし
副教材	プリント
評価方法	出席状況、実習到達度、提出物で評価する。 欠席・遅刻・早退については補充しなければ単位認定されないので留意する。

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	備考
1.	基礎実習科インターン① (203 ルール、身だしなみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者に必要な身だしなみができる ・基礎実習室のルールを説明できる 	203	<ul style="list-style-type: none"> ・入学科インターン冊子 ・歯科診療補助論対本 ・教授要綱 ・予防衣、実習シューズ、マスク着用 ・ハンドタオル ・爪切り ・スタンドミラー 	担当者 (
2.		基礎実習科インターン② (手洗いま確認、日常手洗い法)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防のための手洗いを説明できる ・感染予防のための手洗いを実施できる (日常手洗い法) 		
3. 6/12	マニキンの取り扱い実習	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎実習室のマニキンの取り扱いができる ・顎模型を安全に取り扱うことができる 	203	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科予防処置論対本 ・予防衣、実習シューズ、マスク着用 ・顎模型、頬粘膜ボック、舌模型、ドライバー ・シリアルマキ ・シリアルマキ用カバーシート ・配布プリント 	(株)ニッシン 担当者
4.	相互実習室のルール 1 (B01 のルール、衛生的手洗い法、機器・器材の扱い)	<ul style="list-style-type: none"> ・相互実習のルールを説明できる ・感染予防のための手洗いを実施できる (衛生的手洗い法) ・相互実習室の機器、器材について説明できる ・相互実習室のユニット操作ができる 	B01	<ul style="list-style-type: none"> ・白衣、実習シューズ、マスク、ゴーグル、フェイスシールド着用、髪をまとめ身だしなみを整える ・配布プリント 	担当者
5.					
6.	相互実習室のルール 2 (準備・片付け)	<ul style="list-style-type: none"> ・相互実習時の準備・片付けができる ・滅菌・消毒済み器材の取り扱いができる 	B01	<ul style="list-style-type: none"> ・白衣、実習シューズ、マスク、ゴーグル、フェイスシールド着用、髪をまとめ身だしなみを整える ・配布プリント 	担当者
7.					
8.	9/3	歯科保健指導体験実習	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期対象の歯科保健指導を体験し、集団指導の概要を知る。 	配布プリント	担当者

2026年度 2年前期 実習

<専門分野> 科目名 臨地実習Ⅱ 講師名 遠藤直美 単位数 前・後期4

授業概要	幼児期後期の集団および個別の歯科保健指導をおこなう。 履修上の注意点：感染対策上、行動自粛ができない場合は、外部での実習が中止となることがある。
教科書	なし
副教材	プリント
評価方法	出席状況、実習到達度、提出物で評価する。 欠席・遅刻・早退については補充しなければ単位認定されないので留意する。

指導計画

2-1 実習の場：北区立西ヶ原保育園

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 5/20	保育園実習練習1	集団指導での伝え方の工夫ができる。	
2. 5/22	保育園実習練習2	集団指導をより良いものにできる。	
3. 5/29	保育園 歯科保健指導実習	幼児期後期の集団および個別の歯科保健指導において、その特徴と方法を説明できる。	フィードバックおよび課題を含む

指導計画

2-2 実習の場：キッズタウン東十条保育園

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 5/20	保育園実習練習1	集団指導での伝え方の工夫ができる。	
2. 5/22	保育園実習練習2	集団指導をより良いものにできる。	
3. 6/2	保育園 歯科保健指導実習	幼児期後期の集団および個別の歯科保健指導において、その特徴と方法を説明できる。	フィードバックおよび課題を含む

2026年度 3年前・後期 実習

＜専門分野＞ 科目名 臨地実習Ⅲ 講師名 各臨地実習指導者 単位数 前・後期 15

授業概要	各実習の利インターンの通り 履修上の注意点-1、以下のような行為があった場合は学則第 22 条に基づき懲戒する <ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習ノートの記録紙の検印や署名に不正があった場合 ・臨地実習ノートの記録内容に偽造があった場合 ・その他不正とみられる行為があった場合 2、感染対策上、行動自粛がみられない場合は、外部での実習が中止となることがある
教科書	必要に応じて準備
副教材	臨地実習ノート、配布プリント 他
評価方法	出席状況、実習到達度、提出物で評価する 欠席・遅刻・早退については補充しなければ単位認定されないので留意する

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	備考
1 4/7	I 期臨地実習利インターン	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート	小林・内山
2 4/15	第二種 感染管理者認定資格研修	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療現場における高度な感染制御の知識を得る ・第二種感染管理者認定を受けられることができる 	教室	テキスト 「歯科診療補助論」 「微生物学」	担当者
3 4/16	障害者、有病者歯科診療施設 実習利インターン	障害者、有病者の歯科診療実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート テキスト 「イラストでわかる歯科医学の基礎」 ポイントチェック	各担当者
	健康支援センター オリエンテーション 実習該当者のみ	I 期健康支援センター実習について	教室		
4 4/17	認知症サポーター認定研修	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症への理解と支援の心を持てる ・認知症サポーター認定を受けられることができる 	教室	テキスト 「高齢者歯科学」 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	担当者
5 4/10 ～ 7/15	I 期臨床実習 (一般歯科診療所・他)	臨地実習ノート P2 より到達目標を確認すること	各施設	臨地実習ノート 利インターン資料	指導歯科医師 指導歯科衛生士 (1日8時間) 39日
/	障害者、有病者歯科診療施設 実習 * 実習日は学生により異なる(6日間)	障害者、有病者の特徴を理解し、歯科衛生士としての役割を理解する	各施設	臨地実習ノート 利インターン資料	指導歯科医師 指導歯科衛生士 (1日8時間×6日) * 臨床実習時間数に含む
6 5/1	株式会社メディコム 感染管理セミナー	歯科医療における医療安全の知識を深める。医療安全対策について知る	203	テキスト 「歯科診療補助論」 カラーセット グローブ、シューズ、 白衣(帽子なし)、名札	担当者

7 5/22	歯科工場見学実習 株式会社モリタ東京製作所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科企業で働く歯科衛生士の役割を理解する ・ 歯科用医療機器の開発、製造について知る 	施設	臨地実習ノート 概要ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼｰﾄ 12	担当者
8 6/18	I 期臨床実習終了リレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ I 期臨床実習終了にあたり ・ 提出物について ・ 臨地実習ノートまとめ ・ レポートについて 	教室	臨地実習ノート	小林・内山
9 7/16	I 期臨床実習まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ I 期院内感染防止対策に関する考察ができる ・ I 期臨床実習を振り返り、II 期に向けて目標を持てる ・ 補充実習に関して把握できる 	教室	臨地実習ノート	小林・内山
10 7/17	人体解剖・病院見学実習	神奈川歯科大学 神奈川歯科大学附属病院	施設	概要ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼｰﾄ	担当者
11 7/22	II 期臨床実習リレーション①	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート	小林・内山
/	II 期臨床実習医院へ開始の挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・ / () ~ ・ / () までに ・ II 期臨床実習医院へ挨拶に行く (先方の都合に合わせる) ・ 「登院時間」 ・ 「出入口」 ・ 「ロビーの場所」などを確認できる 	各施設	臨地実習ノート	
12 8/19	II 期臨床実習リレーション②	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート	小林・内山
	矯正歯科実習リレーション ※ 該当者のみ	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる 臨地実習ノート P2 より到達目標を確認すること	教室	概要ﾌﾟﾘﾝﾄ	小林・内山
13 8/28	歯科企業見学実習 株式会社 GC コーポレートセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科企業で働く歯科衛生士の役割を理解する ・ 歯科材料の正しい取り扱い方法を習得する ・ 最新の歯科器材、歯科機器を知る 	施設	臨地実習ノート 概要ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼｰﾄ 13	担当者

14	8/24 ～ 11/11	Ⅱ期臨床実習 (一般歯科診療所・他)	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる 臨地実習ノートP2より到達目標を確認すること	施設	臨地実習ノート	指導歯科医師 指導歯科衛生士 (1日8時間) 38日
15	/	日本歯科審美学会セミナー	審美歯科について ・審美歯科とは何か理解する ・関係する知識を深める ・ホワイトニング剤について ・役割を知る ・認定制度を知る	教室	後日案内	小林・内山
16	/	Ⅱ期臨床実習終了前 オリエンテーション	Ⅱ期臨床実習終了にあたり ・提出物について ・臨地実習ノートまとめ ・レポートについて	教室	臨地実習ノート	小林・内山
17	/	Ⅱ期臨地実習まとめ①	Ⅱ期臨床実習を終えて Ⅱ期院内感染防止対策考察	教室	臨地実習ノート	小林・内山
18	/	Ⅱ期臨地実習まとめ②	Ⅱ期臨床実習報告 補充実習について	教室	臨地実習ノート	小林・内山

※後期日程・項目に関しては、進行状況により変更を生じる可能性がある。

2026年度 2年 前期 講義・演習

<選択必修> 科目名 総合研究Ⅱ 講師名 儀我 有子 単位数 前後期 2

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士による研究の意義を理解し、歯科衛生介入をテーマに深く調べてまとめ、発表を行なう。 ・授業の目的を理解し、自ら目標を立て、意欲的に取り組む。 ・課題作品は、校内ネットワークサーバーの各自フォルダ内とUSBメモリに保存する。
教科書	配布冊子を教科書同様の扱いとする。
副教材	なし
評価方法	小研究レポートおよび発表資料作成と発表の修了、データの保存状態、提出物（遅れ：1日1点減点）、出席状況（欠課：1時間2点減点、遅刻早退：1回1点減点）で評価する。

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 9/1	小研究活動の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・総合研究Ⅱの授業概要を知る。 ・復習-情報収集法、図書の利用法、レポートの記入方法のルールを説明できる。 ・テーマをイメージできる。 ・計画書の作成方法を知る。 ・レポート作成および発表に必要なファイルを作成する。 	TAKI USBメモリ 冊子
2. 3.	小研究活動1	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関する情報を収集する。 ・計画書を作成する。 	TAKI USBメモリ 冊子
2-1 9/7 2-2 9/8	小研究活動2	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関する情報を収集する。 ・計画書を作成する。 	TAKI USBメモリ 冊子
4. 9/24	小研究活動3	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関する情報を収集する。 ・計画書を仕上げる。 	TAKI USBメモリ 冊子 ※計画書提出期日 月 日
5.	小研究活動4	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関する情報を収集する。 ・レポートを作成する。 	TAKI USBメモリ 冊子
6. 9/29	小研究活動5	レポートを作成する。	TAKI USBメモリ 冊子
7. 後期	小研究活動6	レポートを作成する。	TAKI USBメモリ 冊子
8. 後期/	小研究活動7	レポートを作成する。	TAKI USBメモリ 冊子
9. 後期/	小研究活動8	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートを作成する。 ・発表資料（パワーポイント）を作成する。 ・発表資料（原稿）を作成する。 	TAKI USBメモリ 冊子
10. 後期	小研究活動9	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートを作成する。 ・発表資料（パワーポイント）を作成する。 ・発表資料（原稿）を作成する。 	TAKI USBメモリ 冊子
11. 後期	小研究活動10	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートを作成する。 ・発表資料（パワーポイント）を作成する。 ・発表資料（原稿）を作成する。 	TAKI USBメモリ 冊子

12. 後期	小研究活動11	発表に向けてレポート、原稿、パワーポイントなどを整える。	TAKI USBメモリ 冊子
13. 後期	プレゼンテーションA	小研究結果を発表する。 発表を聴講する。	201・203 202・203
14. 後期	プレゼンテーションB	小研究結果を発表する。 発表を聴講する。	201・203 202・203
15. 後期	プレゼンテーションC	小研究結果を発表する。 発表を聴講する。	201・203 202・203

※6回目以降は後期授業

※小研究レポート最終提出期日： 月 日（ ）

※総合研究Ⅱ 冊子提出期日： 月 日（ ）

2026年度 2年前期 講義

<選択必修>科目名 口腔リハビリテーション論 講師名 中根 綾子 須佐 千明 単位数 1

授業概要	日本は超高齢社会を迎えており、高齢者の誤嚥性肺炎や窒息が問題となっている。摂食嚥下リハビリテーションは、口腔衛生のプロとしての歯科衛生士が重要な役割を果たすと考えられる。また、摂食嚥下訓練においても歯科衛生士の活躍が期待されている。講義を通じて、摂食嚥下のメカニズムを学び、リハビリテーションの概念や歯科衛生士に必要な基礎的知識を習得する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第3版
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 6/5	疾患別の摂食嚥下障害の特徴	摂食嚥下とその障害を説明できる	須佐
2. 6/5	摂食嚥下障害の診察	摂食嚥下障害の診察方法を説明できる	須佐
3. 6/12	摂食嚥下障害への対応（入院患者）	V Fの結果を理解し、入院患者への対応を説明できる	須佐
4. 6/12	摂食嚥下障害への対応（往診患者）	V Eの結果を理解し、往診患者への対応が説明できる	須佐 (45分)
5. 6/18	摂食嚥下とは	摂食嚥下の5期やメカニズムを説明できる	中根
6. 6/18	摂食嚥下障害スクリーニング	摂食嚥下障害のスクリーニング方法を説明できる	中根
7. 6/25	摂食嚥下障害の訓練（間接訓練）	多様な間接訓練を説明できる	中根
8. 6/25	摂食嚥下障害の訓練（直接訓練）	多様な直接訓練および、障害の概念、スキルの概念を説明できる	中根

※1～8回すべて TAKI ホール使用

2026年度 2年後期 演習

<選択必修>科目名 口腔リハビリテーション技術 講師名 堀口 由紀子 単位数 2

授業概要	超高齢社会において、さまざまな疾患・身体状況・精神状況・生活環境を把握し、口腔衛生管理・口腔機能管理の両面からのアプローチは、口腔健康管理において非常に重要である。それを踏まえた上で、口腔リハビリテーションの知識と技術を習得する。また、摂食嚥下障害における食事指導・食支援について習得する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学」 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	各自準備	学校準備
	口腔機能について	<ul style="list-style-type: none"> 摂食嚥下時の口腔機能を体感し、摂食嚥下のプロセスを説明できる。 オーラルフレイル、口腔機能低下症について説明できる。 	水入りペットボトル コップ 手鏡 煎餅 1枚	
	口腔健康管理の概要	<ul style="list-style-type: none"> 口腔衛生管理、口腔機能管理について説明できる。 多職種連携について説明できる。 歯科衛生過程について説明できる。 状態把握に必要なバイタルサインや検査について説明できる。 		
	各疾患における口腔健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 各疾患の口腔関連症状と口腔健康管理の留意点について説明できる。 		
	各ステージにおける口腔健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 周術期、急性期、回復期、慢性期、終末期における口腔健康管理の対応について説明できる。 		
	口腔衛生管理実習 1	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や麻痺の疑似体験から口腔衛生管理の留意点が説明できる。 	【予防衣】 フェイスシールド マスク 水入りペットボトル 計量カップ 紙コップ3個 (1個には水50mlを入れておく) スプーン 手鏡 ティッシュ 浴用タオル うがい吐き出し容器(牛乳パックの下10cm残して上をカットしたもの)	紙トレー タフト歯ブラシ (ESS) スポンジブラシ (各2本ずつ) グローブ トロミ剤 保湿ジェル ジェル用トレー ガーゼ アルコール綿 ゴミ袋
	口腔衛生管理実習 2	<ul style="list-style-type: none"> 口腔内拡張、唾液腺マッサージ、スポンジブラシ、保湿剤、舌ケア等、基本的な口腔衛生管理ができる。 		
	口腔衛生管理実習 3	<ul style="list-style-type: none"> 吸引方法について説明できる。 車椅子、ベッド上での口腔衛生管理の留意点が説明できる 義歯の着脱方法、取り扱いについて説明できる。 	【白衣】 水入りペットボトル	マナボット (3) マナボット顎模型 (3) 長机 (1) ベッド (2) 車椅子 (2) 枕 (2) クッション (4) バスタオル (2)
	実際の口腔健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 症例に合わせた口腔清掃用具を類別できる。 実際の症例から、課題を列挙できる。 		

	間接訓練実習 1	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下体操ができる。 ・摂食嚥下訓練における刺激法が類別できる ・筋刺激訓練法について説明できる。 	【予防衣】 フェイスシールド マスク 手鏡	グローブ ガーゼ
	間接訓練実習 2	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下促進訓練について説明できる。 ・声門閉鎖訓練について説明できる。 ・呼吸訓練について説明できる。 ・食道入口部開大訓練について説明できる。 		
	直接訓練実習 1	<ul style="list-style-type: none"> ・直接訓練の基本姿勢が説明できる。 ・直接訓練法について説明できる。 ・補綴的対応方法について説明できる。 	フェイスシールド マスク ヨーグルト ゼリー スプーン 50 mlのお茶 コップ	グローブ トロミ剤
	直接訓練実習 2	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下機能に合わせた食事介助について説明できる。 ・経口摂取の代償による栄養摂取方法について説明できる。 ・嚥下調整食やとろみ調整食品について説明できる。 		
	成人の摂食嚥下障害における食事指導・食支援	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の摂食嚥下障害における食事指導、食支援について説明できる。 		
	発達期の摂食嚥下機能と摂食嚥下障害	<ul style="list-style-type: none"> ・発達期の摂食嚥下機能、摂食嚥下障害について説明できる。 ・口腔機能発達不全症について説明できる。 		
	事例検討 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討を行い、ケアプランを作成することができる。 		

2026年度 3年後期 演習

<選択必修> 科目名 包括授業 講師名 科目講師 単位数 8単位

授業概要	専門基礎分野科目と専門分野科目の関連性を自ら発見し、臨床での体験も踏まえて歯科衛生士に必要な知識を改めて認識し、臨床に有用な知識・技術へと着実強固に発展させる。
教科書	各科目教本
副教材	これまでに各科目で配布されたプリントおよび講義ノート
評価方法	期末試験（国家試験形式）、出席状況

指導計画

科目	講師	時間数
解剖学／口腔解剖学		6
組織発生学		4
生理・口腔生理学		6
病理学／口腔病理学		4
微生物学		4
栄養学		2
生化学		4
薬理学		4
衛生・公衆衛生学		2
予防歯科学／地域歯科保健活動論／保健情報統計学		4
衛生行政・社会福祉		4
保存修復学		4
歯内療法学		4
歯周病学		4
歯科補綴学		4
口腔外科学		4
小児歯科学		2
歯科矯正学		4
高齢者歯科学		4
障害者歯科学		2
歯科麻酔・全身管理・救急処置		2
歯科放射線学		2
口腔リハビリテーション論		4
口腔リハビリテーション技術		4
歯科予防処置論／歯科保健指導論／歯科診療補助／歯科衛生士概論		20
専門基礎分野科目まとめ		4
専門分野科目まとめ		4
主要三教科まとめ		4
	計	120